

# 第4回「救急医療の今後のあり方に関する検討会」

## 議事次第

日時 平成20年4月30日(水)

14:00～16:30

場所 経済産業省別館(10F)

### ○ 開 会

### ○ 報 告

- ・ 救命救急センターの新しい充実段階評価(案)について
- ・ 消防庁調査「救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査」について

### ○ 議 事

#### 1. 今後の救命救急センターの整備について

##### ○ 救急医療機関の出口の問題について

- ・ 大阪医療センター 救命救急センター長 定光先生
- ・ 日野田中病院 遠藤先生

#### 2. 二次救急医療機関について

##### ○ 二次救急医療機関の状況について

- ・ 加納総合病院 加納先生

##### ○ ER型救急医療機関について

- ・ 福井医科大学 救急部 寺澤先生
- ・ 都立墨東病院 救命救急センター長 濱邊先生

### ○ 閉 会

### 資 料

救命救急センターの新しい充実段階評価(案)について

消防庁調査「救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査」について

【資料1】第3回「救急医療の今後のあり方に関する検討会」議事概要

【資料2】検討会における議題について(メモ)

【資料3】いわゆる「出口の問題」について

【資料4】第二次救急医療機関について

【定光先生提出資料】

【遠藤先生提出資料】

【加納先生提出資料】

【寺澤先生提出資料】

【濱邊先生提出資料】

## 「救急医療の今後のあり方に関する検討会」

### 1 趣旨

救命救急センターについては、これまでに質・量ともに一定の整備がなされてきたところ。しかしながら、今後も増大する見込みの救急医療需要に対して、一層の充実を図っていく必要がある。

特に、これまでの重症外傷等への対応に加え、今後増加が懸念される脳卒中、急性心筋梗塞等の急病への対応が課題である。また依然、受入病院の決定までに長時間を要する救急車搬送事案も発生しており、これらへの対策についても考えていく必要がある。

こういった状況を踏まえ、今後の救命救急医療のあり方について検討を行う。

### 2 検討内容

- ・ 救命救急センターの全国的な整備のあり方
- ・ 高度救命救急センターのあり方
- ・ 救命救急センターの評価方法のあり方

### 3 会の位置付け等

- ・ 指導課長による検討会
- ・ 会は、原則公開
- ・ 更に専門的な調査や検討を要する場合には、必要に応じ作業部会を開く（作業部会は非公開）

### 4 会議のメンバー等

（別紙のとおり）

### 5 事務局

- ・ 医政局指導課にて行う。

### 6 開催スケジュール

- ・ 12月より会を数回開催し、年度内を目途にとりまとめを行う。

「救急医療の今後のあり方に関する検討会」

<メンバー>

- 石井 正三 日本医師会常任理事
- 坂本 哲也 帝京大学医学部救命救急センター教授
- 篠崎 英夫 国立保健医療科学院長
- 島崎 修次 (財)日本救急医療財団理事長 / 杏林大学救急医学教授
- 染谷 意 茨城県保健福祉部次長
- 豊田 一則 国立循環器病センター 内科脳血管部門 医長
- 野々木 宏 国立循環器病センター 心臓血管内科 部長
- 藤村 正哲 大阪府立母子保健総合医療センター 総長
- 前川 剛志 山口大学医学部長
- 松下 隆 帝京大学医学部整形外科主任教授
- 山本 保博 日本私立学校振興・共催事業団 東京臨海病院 院長

<参考人>

- 遠藤 正樹 医療法人社団 康明会 事務局長
- 加納 繁照 特定・特別医療法人 協和会 加納総合病院 院長
- 定光 大海 大阪医療センター救命救急センター長
- 寺澤 秀一 福井大学医学部附属病院 救急部長
- 濱邊 祐一 都立墨東病院 救命救急センター長

<オブザーバー>

- 溝口 達弘 総務省消防庁救急企画室

<省内関係部局>

- 雇用均等・児童家庭局 母子保健課
- 保険局 医療課

救命救急センターの新しい充実段階評価(案)

平成20年3月31日  
厚生労働省医政局指導課

求められる機能	番号	設問	実数等	点数	記点基準 (試行調査を踏まえて調整予定)(その後も経年的に適宜見直し見込み)	備考 (設問の意味や、言葉の定義をより明確にする等のために適宜修正予定)
					一般の救命救急センター	遠方まで別の施設のないセンター(※)
	1	専従医師数		人	・14人以上: +5点 ・10人以上: +4点 ・6人以上: +3点	・7人以上: +5点 ・5人以上: +4点 ・3人以上: +3点
	2	1にしめる救急科専門医数		人	・7人以上: +5点 ・5人以上: +4点 ・2人以下: -2点	・4人以上: +5点 ・2人以上: +4点 ・1人以下: -2点
	3	休日及び夜間帯におけるセンターの医師数		人	・4人以上: +3点 ・2人以上: +1点	・2人以上: +3点 ・1人以上: +1点
	4	救命救急センター長の要件			・1の専従医であり、かつ、救急医学会指導医である: +3点 ・1の専従医であり、かつ、救急医療に深く関連する学会認定の指導医など客観的に救急医療に関する指導者として評価を受けているか救急科専門医である: +1点 ・1の専従医でない: -3点	センター長が、実際に救命救急センターにおける業務に日常的に関与し責任をもちつていない場合は、-3点。
	5	医師事務作業補助者の有無			・24時間常時、救命救急センター専従で確保されている: +3点 ・救命救急センターに専従で確保されている: +2点	医師事務作業補助者の業務内容については、診療報酬上の「医師事務作業補助体制加算」の算定要件を参照
	6	転院・転棟の調整員の配置			・転院・転棟等の院内外の連携を推進する調整員を救命救急センターに専従で配置している: +2点	ここで言う「調整員」とは、救命救急センターに搬送等により来院した患者の病態が一般病棟や他院での診療が可能な状態になった場合に、その患者の転院や転院等に係る調整を行うことを専ら業務とする者をいう。
	7	入院台帳の整理等			・救命救急センターで診療を行った患者の診療台帳を整備せず、または、その台帳を適切に管理する者を定めていない: -5点	救命救急センターで診療を実施した全ての重症患者の診療台帳を電子的な方法で整備し、その管理者を選定し、台帳を適切に管理することが求められる。
	8	診療登録制度への参加と自己評価			・救命救急医療に係わる疾病別の診療登録制度へ参加し、自己評価を行っている: +2点	ここで言う「診療登録制度」は、救命救急医療に係わる疾患の全体的なデータ登録制度のことであり、これまでのところ日本外出データバンク登録が該当する。救命救急センターで診療を行ったAIS3以上の外傷をすべて登録している場合に算定する。
	9	救命救急センターの消防機関から搬送要請を受ける電話等の状況			・専用の電話(ホットライン)があり、原則として最初から医師が応答し、直ちに受入可否等の判断を行う体制になっている: 0点 ・上記を満たさない: -5点	
	10	循環器疾患への診療体制			・循環器疾患を疑う患者が搬送された時に、常時院内の循環器医が、直接診療するか、いつでも院内にいる循環器医に相談できる体制になっている: 0点 ・上記を満たさない: -5点	ここで言う「循環器医」とは、内科系か外科系かを問わない。オンコールは含まない。
	11	脳神経疾患への診療体制			・脳神経疾患を疑う患者が搬送された時に、常時院内の脳神経医が、直接診療するか、いつでも院内にいる脳神経医に相談できる体制になっている: 0点 ・上記を満たさない: -5点	ここで言う「脳神経医」とは、内科系か外科系かを問わない。オンコールは含まない。
	12	整形外科疾患への診療体制			・整形外科的な診療を必要とする患者が搬送された時に、常時院内の整形外科医が、直接診療するか、いつでも整形外科医に相談できる体制になっている: 0点 ・上記を満たさない: -5点	
	13	精神科医による診療体制			・精神的疾患を伴う患者が搬送された時に、常時院内の精神科医が、直接診療するか、いつでも相談できる体制になっている: +2点 ・平日日中のみ可能である: 0点	
	14	小児(外)科医による診療体制			・小児患者(患児)が搬送された時に、常時院内の小児科(小児外科)医が、直接診療するか、いつでも相談できる体制になっているとともに、小児の救命救急医療に必要な機器等が整備されている: +2点 ・上記を満たさない: 0点	ここで言う「必要な機器等」には、小児用ベッド、小児に対応できる人工呼吸器、小児に対応できる二次救命蘇生法に必要な器具をいう。
	15	産(婦人)科医による診療体制			・産(婦人)科に関する患者が搬送された時に、常時院内の産(婦人)科医が、直接診療するか、いつでも相談できる体制になっている: +2点 ・平日日中のみ可能である: 0点	
	16	CT・MRI検査の体制			・マルチスライスCTが、24時間常時、初療室に隣接した検査室で直ちに撮影可能であり、MRI(1.5テスラ以上)も24時間常時、直ちに撮影可能である: +3点 ・どちらかでも欠ける: 0点	ここで言う「初療室に隣接した」とは、初療室の最も使用するベッドの位置から、CTのベッドまでの移動距離が30m以内であることをいう。
	17	手術室の体制			・常時、麻酔科の医師、手術室の看護師が院内で待機しており、緊急手術が必要な患者が搬送された際に、直ちに手術が可能な体制が整っている: +3点	
	18	院内連携に関する会議			・重症患者への診療や、院内の連携についての会議が半期毎に開催されている: +2点	定期的な会議の開催が、議事録等で確認できる必要がある。
	19	第三者による医療機能の評価			・日本医療機能評価機構、ISOによる医療機能評価において認定を受けている: +2点	
	20	感染症の管理について			・抗菌剤使用に関する統一した基準を救命救急センター内で定め、院内感染対策委員による病棟回診を週に1回以上実施している: +2点	
	21	医療事故防止への対応			・医療事故・患者をテーマにした研修へ、救命救急センター専従医師・看護師がすべて年2回以上参加している: +2点	
	22	倫理委員会の設置状況			・救急医療についても検討する倫理委員会が院内に設置されていない: -5点	

重症・重篤患者の診療機能

救命救急センターの新しい充実段階評価(案)

平成20年3月31日  
厚生労働省医政局指導課

求められる機能(番号)	設問	実数等	点数	配点基準(該当調査を踏まえて調整予定)(その後も経年的に適宜見直す見込み)		備考(設問の意味や、言葉の定義をより明確にする等のために適宜修正予定)
				一般の救命救急センター	遠方まで別の施設のないセンター(※)	
重症・重篤患者の診療機能	23 医師の負担軽減の体制			・1の専従医の勤務負担軽減及び医療安全の向上に資するための計画を策定し、職員等に周知している。:+5点		平成19年12月28日厚生労働省医政局長通知「医師及び医療関係職と事務職員等との間での役割分担の推進について」を参照すること。
	24 休日及び夜間勤務の適性化			・管理者等が、3の休日及び夜間の救命救急センターで診療を行う医師の勤務実態を把握し、かつ、労働基準法及び「医療機関における休日及び夜間勤務の適性化について(平成14年3月19日厚生労働省労働基準局長通知)」等が遵守されているかどうか、4半期毎に点検し改善を行っている。:+4点 ・上記に加え、3の休日及び夜間の救命救急センターで診療を行う医師の勤務について、交代制勤務を導入している。:+さらに+4点		管理者とは労働基準法の管理監督者を指す。 平成14年3月19日厚生労働省労働基準局長通知「医療機関における休日及び夜間勤務の適性化について」を参照すること
	25 年間重症患者数	人		・500人以上:+1点 (以後、50人増すごとに+1点) (上限は1200人以上:+15点まで)	・250人以上:+1点 (以後、25人増すごとに+1点) (上限は600人以上:+15点まで)	重症患者の定義は別添の定義による。(別表参照) 必要に応じて重症患者リストの概要提出を求めることがある。 (実態を踏まえて基準の調整)
	26 救命救急センターを有する病院の年間救急車搬送人員	人		・1000人以上:+1点 (以後、1000人増すごとに+1点) (上限は5000人以上:+5点まで)	・500人以上:+1点 (以後、500人増すごとに+1点) (上限は2500人以上:+5点まで)	救命救急センターを有する病院全体へ、救急車(ドクターカーやヘリコプターも含む)によって搬送された人員を数える。 (実態を踏まえて基準の調整)
	27 救命救急センターの救急搬送要請への対応			・消防機関からの当該センターへの電話による救急搬送要請について、受入に至らなかった場合の理由も含め対応記録を残し、応需率等の応需状況について院内外に公表するとともに、院外の委員会(MC協議会等)や院内の委員会等で応需状況の改善等に向けて検討を実施している。:+7点 ・対応記録が応需率をどちらか一方でも記録していない。:-5点		ここでいう「応需率」は、(応需率=最終的に当該センターで受入に至った年間救急搬送人員/消防機関からの電話による救急搬送要請回数(年間件数)) 「消防機関からの電話による救急搬送要請」には、重症度にかかわらず、ホットラインへの救急搬送要請すべてを含む。 救急搬送要請回数、1救急搬送要請につき1回と数える。
	28 救命救急センターの所属する病院の救急搬送要請への対応			・消防からのセンターを有する病院への電話による救急搬送要請について、消防機関からの連絡を受ける専用電話があり、最初から医師か看護師が電話を受け、対応記録を残し、応需までに要する時間の短縮や応需率などの改善に向けての対策について院内で検討を行っている。:+3点 ・応需状況を記録していない。:-3点		ここでいう「消防機関からの電話による救急搬送要請」には、当該センターを有する病院への消防機関からの288の受入要請を除く全ての救急搬送要請を指す。 センターを有する病院への消防機関からの救急搬送要請は全て9のホットラインで受けて入れている場合は3点を配点。ただし9で減点の場合は0点。
	29 疾病の種類によらない受入			・救命救急医療が必要と考えられる重症・重篤搬送患者については、疾病の種類によらず原則として受け入れている。:0点 ・基本的に特定の診療科・診療領域に限って救急搬送を受け入れている。:-10点		ここでは、実態として、当該センターが特定の診療科や診療領域に限定して診療を行っていないかどうかを確認している。(別表による重症患者数と整合性があること)
30 救急外来のトリアージ機能			・救急外来にトリアージナースもしくはトリアージ医師が、基本的に配置されている。:+2点 ・配置されていない、あるいは、医師、看護師以外が対応している。:0点		重症重篤化する患者を的確にトリアージするなどして、来院した全ての救急患者に適切で質の高い診療が求められる。救急外来が1施設は配点しない。	
地域の救急搬送・救急医療体制への支援機能	31 救急救命士のメディカルコントロール(MC)体制への関与			・救急救命士からの指示助言要請に、救命救急センターに勤務する医師が24時間常時、専用電話で応答し、応答記録を整備している。:0点 ・上記を満たさない。:-3点		消防司令センター等への1の専従医を派遣し、救急救命士に適切に指示助言を行い、応答記録を整備している場合は減点しない。 専用電話のホットラインとの共有は可。
	32 (都道府県による評価) 都道府県・地域MC協議会への関与、救急患者受入コーディネーターへの参画			(都道府県の評価) ・都道府県MC協議会もしくは地域MC協議会に積極的に参画し、かつ都道府県の救急患者受入コーディネーター確保事業等へ参画するなどして地域の救急医療体制の充実に十分に貢献している。:+3点 ・都道府県MC協議会もしくは地域MC協議会に積極的に参画している。:+2点 ・概ね参画し、貢献しているが、より積極的な関与が期待される。:+1点 ・参画、貢献が不十分:-3点		都道府県による評価(都道府県から評価を得ること。)
	33 (都道府県による評価) 救急医療情報システムへの関与			(都道府県の評価) ・当該センターの属する病院は、適切に情報を更新している。かつ人力状況について院内外の委員会(MC協議会等)で検証・検討を行っている。:+3点 ・概ね良いが改善の余地がある。:+1点 ・不適切:-3点		都道府県による評価(都道府県から評価を得ること。) 救急医療情報システムの整備がなされていないなどにより当該医療機関が、県から救急医療情報システムへの情報発信(入力)を求められていない場合は3点を配点。
	34 (消防機関による評価) ウツタイン様式調査への協力状況			(消防機関の評価) ・消防機関の実施するウツタイン様式調査に積極的に協力している。:+2点		当該医療機関のある地域の管轄消防本部の長による評価。(管轄消防本部の長から評価を得ること。)
救急医療の教育機能	35 救急救命士の病院実習受入状況	挿管実習受入人数 薬剤投与受入人数	人	・挿管実習受入人数10以上かつ薬剤投与受入人数10以上:0点 ・どちらかでも満たさない。:-5点		(実態を踏まえて基準の設定)
	36 臨床研修医の受入状況		人	・救命救急センターもしくは救急外来で、臨床研修医を年間8名(1名につき3ヶ月)以上受け入れている。:+2点		
災害時対応機能	37 災害拠点病院の認定の有無			・災害拠点病院として認定されていない。:-5点		
	38 DMAT指定医療機関の是非			・救命救急センターの専従医(1)に厚生労働省の実施するDMAT研修を終了した者がいる。:+2点		
合計			0	○救命救急センター施設状況 (1)最寄りの救命救急センター名を下の枠に記入すること! (2)最寄りの救命救急センターまでに車両で60分以上を要し、所管人口が30万人未満の施設である!		
評価結果						

※ 最寄りの救命救急センターまでに車両で60分以上を要し、所管人口が30万人未満の施設 (実態を踏まえて調整)

## 年間重篤患者数(平成19年1月～12月)

一つの症例で複数の項目に該当する場合は、最も適切なもの一つのみを選択する。

番号	疾病名	基準(基準を満たすもののみ数えること)	患者数 (人)	退院・転院 (転棟を含む) (人)	死亡 (人)
1	病院外心停止	病院前心拍再開例、外来での死亡確認例を含む		※	※
2	重症急性冠症候群	切迫心筋梗塞、急性心筋梗塞または緊急冠動脈カテーテル施行例			
3	重症大動脈疾患	大動脈解離もしくは大動脈瘤破裂			
4	重症脳血管障害	来院時JCS 100以上または開頭術もしくは血管内手術施行例、あるいはtPA療法施行症例			
5	重症外傷	Max AISが3以上または緊急手術施行例			
6	重症熱傷	Artzの基準による			
7	重症急性中毒	来院時JCS 100以上または血液浄化法施行例			
8	重症消化管出血	緊急内視鏡施行例			
9	重症敗血症	感染性SIRSで臓器不全、組織低灌流または低血圧を呈する例			
10	重症体温異常	熱中症または偶発性低体温症で臓器不全を呈する例			
11	特殊感染症	ガス壊疽、壊死性筋膜炎、破傷風等			
12	重症呼吸不全	人工呼吸器管理症例(1～10を除く)			
13	重症急性心不全	人工呼吸器管理症例もしくはSwan-Ganzカテーテル、PCPSまたはIABP使用症例(1～10を除く)			
14	重症出血性ショック	24時間以内に10単位以上の輸血必要例(1～10を除く)			
15	重症意識障害	JCS 100以上が24時間以上持続(1～10を除く)			
16	重篤な肝不全	血漿交換または血液浄化療法施行例(1～10を除く)			
17	重篤な急性腎不全	血液浄化療法施行例(1～10を除く)			
18	その他の重症病態	重症肺炎、内分泌クリーゼ、溶血性尿毒症性症候群などで持続動注療法、血漿交換または手術療法を実施した症例(1～16を除く)			
合計			0	0	0

※試行調査においては、必ずしも入力求めない。わかれば入力してください。

## 【背景人口】

救命救急センターの所管人口  人  
(複数の施設で所管人口を算定している場合は、その所管人口を施設数で割った人口とする。)

(注) 試行調査をふまえ、基準等の変更があり得る。

平成20年3月11日  
消 防 庁

## 救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査の結果について

救急搬送における医療機関の受入状況については、昨年、産科・周産期傷病者について調査を行ったところですが、産科・周産期傷病者以外の救急搬送においても医療機関の受入照会回数が多数に及ぶ事案が各地に見られるなど、救急体制について各地域において様々な課題があると指摘されております。このため、総務省消防庁は、産科・周産期傷病者以外にも調査範囲を拡大し、救急搬送における医療機関の受入状況等について、下記の要領により実態調査を行いました。この度、その結果がまとまりましたので公表します。

### (調査要領)

#### 1 調査対象期間

平成19年中に行われた救急搬送

#### 2 調査対象事案

- (1) 重症以上傷病者搬送事案
- (2) 産科・周産期傷病者搬送事案
- (3) 小児傷病者搬送事案
- (4) 救命救急センター等搬送事案

#### 3 調査項目

- (1) 搬送人員
- (2) 医療機関に受入の照会を行った回数ごとの件数
- (3) 現場滞在時間区分ごとの件数
- (4) 受入に至らなかった理由ごとの件数
- (5) 照会回数11回以上の事案における受入に至らなかった理由等
- (6) 救命救急センター等における救急搬送の受入状況

○ 本調査は、救急搬送における医療機関の受入状況等を緊急に把握するため、各消防本部における現時点での搬送データを基に集計した速報値であり、今後、数値の変更があり得るものです。

## 参考

第二次医療機関の医療機関数や現況調査については、現在は平成18年の医療法改正に伴う医療計画制度の変更の過渡期であり、都道府県を通じて実施している第二次救急医療機関の数や、現況調査などには、県によって

- ① 以前、国からの補助対象であった病院郡輪番制病院や共同利用型病院のみを報告しているところ
- ② 二次医療機関のうち、独自に定めた基準を満たしている病院のみを報告しているところ

がある。

そのため、各都道府県からすべての第二次医療機関について報告がなされている状況ではない。



## 【ポイント】

### I 平成19年における救急搬送の概況

全国の消防本部における救急自動車による総搬送人員は4,918,479人でした。  
このうち、本調査の対象となる搬送人員は次のとおりです。(表1参照)

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| 1 重症以上傷病者搬送人員   | 530,671人 |
| 2 産科・周産期傷病者搬送人員 | 46,978人  |
| 3 小児傷病者搬送人員     | 386,221人 |
| 4 救命救急センター等搬送人員 | 157,880人 |

1、2、3の重複を除いた調査対象の搬送人員は953,119人となります。

(4の救命救急センター等搬送人員と1、2、3の搬送人員の重複部分は区分できないため、合算していません。)

### II 調査対象事案の状況

#### 1 重症以上傷病者搬送事案

重症以上傷病者搬送人員530,671人から転院搬送人員119,046人を除いた、411,625人について調査した結果、以下のとおりでした。

#### (1) 医療機関に受入の照会を行った回数ごとの件数

① 受入医療機関が決定するまでに行った照会回数が4回以上のものは14,387件、6回以上のものは5,398件、11回以上のものも1,074件ありました。最大照会回数は、50回でした。(表2参照)

② 地域別の状況を見ると、首都圏、近畿圏等の大都市周辺部において照会回数が多くなっており、4回以上の事案の占める割合が全国平均(3.9%)を上回る団体(10都府県<sup>※</sup>)における4回以上の事案数が、全国の事案数の85%を占めるなど、選定困難事案が一定の地域に集中して見られる傾向があります。

※宮城県、茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府  
兵庫県、奈良県

#### (2) 現場滞在時間区分ごとの件数

現場滞在時間が30分以上のものは15,656件、60分以上のものは1,721件、90分以上のものは405件、120分以上のものは153件、150分以上のものも65件ありました。(表3参照)

#### (3) 受入に至らなかった理由ごとの件数

受入に至らなかった主な理由は、「処置困難<sup>※</sup>」(22.9%)、「ベッド満床」(22.2%)、「手術中・患者対応中」(21.0%)、「専門外」(10.4%)となっています。(表4参照)

※「処置困難」とは、医療機関が、傷病者の症状に対処する設備・資器材がない、手術スタッフが不足している、傷病者の症状から手に負えないことを理由に受入できないと回答したものをいいます。

(4) 照会回数 11 回以上の事案

- ① 受入に至らなかった主な理由は、「処置困難」(31.5%)、「ベッド満床」(23.8%)、「手術中・患者対応中」(17.7%)、「専門外」(9.1%)となっています。(表 5-1 参照)
- ② 覚知時間別の分布は、18 時から翌 6 時の時間帯に多くみられます。(図 1 参照)

2 産科・周産期傷病者搬送事案

産科・周産期傷病者搬送人員 46,978 人から転院搬送人員 22,805 人を除いた、24,173 人について調査した結果、以下のとおりでした。

(1) 医療機関に受入の照会を行った回数ごとの件数

- ① 受入医療機関が決定するまでに行った照会回数が 4 回以上のものは 1,084 件、6 回以上のもは 363 件、11 回以上のもも 53 件ありました。最大照会回数は、43 回でした。(表 2 参照)
- ② 地域別の状況を見ると首都圏、近畿圏等の大都市周辺部において照会回数が多くなっており、4 回以上の事案の占める割合が全国平均(4.8%)を上回る団体(7 都府県<sup>\*</sup>)における 4 回以上の事案数が、全国の事案数の 77%を占めるなど、選定困難事案が一定の地域に集中して見られる傾向があります。

<sup>\*</sup>宮城県、茨城県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、奈良県

(2) 現場滞在時間区分ごとの件数

現場滞在時間が 30 分以上のものは 1,331 件、60 分以上のものは 109 件、90 分以上のものは 27 件、120 分以上のものは 12 件、150 分以上のものも 3 件ありました。(表 3 参照)

(3) 受入に至らなかった理由ごとの件数

受入に至らなかった主な理由は、「処置困難」(21.5%)、「手術中・患者対応中」(19.0%)、「専門外」(13.5%)、「ベッド満床」(10.1%)、となっています。(表 4 参照)

(4) 照会回数 11 回以上の事案

- ① 受入に至らなかった主な理由は、「処置困難」(38.7%)、「ベッド満床」(17.0%)、「手術中・患者対応中」(12.3%)、「専門外」(7.1%)、「初診(かかりつけ医なし)」(6.5%)となっています。(表 5-1 参照)
- ② 傷病程度は、「重症以上」(10.5%)、「中等症」(63.2%)、「軽症・その他」(26.3%)となっています。(表 5-2 参照)
- ③ 覚知時間別の分布は、16 時から翌 8 時の時間帯に多くみられます。(図 2 参照)

(5) 平成 16 年から平成 19 年までの傾向について

平成 16 年から平成 19 年までの照会回数 4 回以上の事案数の推移をみると、平成 16 年 255 件(全体の 1.9%)、平成 17 年 342 件(同 2.6%)、平成 18

年 667 件（同 4.1%）、平成 19 年 1,084 件（同 4.8%）と件数、比率ともに増加傾向にあります。（図 5 参照）

（注）昨年実施した産科・周産期傷病者搬送調査においては、転院搬送分を含む数値で集計しており、平成 16 年から平成 18 年における上記括弧内の割合は、転院搬送における照会回数を 1 回として算定したものです。

### 3 小児傷病者を搬送した事案

小児傷病者搬送人員 386,221 人から転院搬送人員 32,175 人を除いた、354,046 人について調査した結果、以下のとおりでした。

#### (1) 医療機関に受入の照会を行った回数ごとの件数

① 受入医療機関が決定するまでに行った照会回数が 4 回以上のものは 8,618 件、6 回以上のもは 2,241 件、11 回以上のもは 220 件ありました。最大照会回数は、35 回でした。（表 2 参照）

② 地域別の状況を見ると首都圏、近畿圏等の大都市周辺部において照会回数が多くなっており、4 回以上の事案の占める割合が全国平均（2.7%）を上回る団体（11 都府県<sup>\*</sup>）における 4 回以上の事案数が、全国の事案数の 81%を占めるなど、選定困難事案が一定の地域に集中して見られる傾向があります。

<sup>\*</sup>宮城県、福島県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、新潟県、大阪府、兵庫県、奈良県、佐賀県

#### (2) 現場滞在時間区分ごとの件数

現場滞在時間が 30 分以上のものは 5,112 件、60 分以上のものは 229 件、90 分以上のものは 38 件、120 分以上のものは 16 件、150 分以上のものも 5 件ありました。（表 3 参照）

#### (3) 受入に至らなかった理由ごと件数

受入に至らなかった主な理由は、「専門外」（25.2%）、「手術中・患者対応中」（21.8%）、「処置困難」（16.1%）、「医師不在」（10.6%）となっています。（表 4 参照）

#### (4) 照会回数 11 回以上の事案

① 受入に至らなかった主な理由は、「処置困難」（29.0%）、「専門外」（22.5%）、「手術中・患者対応中」（12.2%）、「医師不在」（5.4%）となっています。（表 5-1）

② 傷病程度は、「重症以上」（3.2%）、「中等症」（28.2%）、「軽症・その他」（68.6%）、となっています。（表 5-2）

③ 覚知時間別の分布は、16 時から 22 時の時間帯に多くみられます。（図 3 参照）

#### 4 救命救急センター等搬送事案

救命救急センター等\*搬送人員 157,880 人から転院搬送人員 23,838 人を除いた、134,042 人について調査した結果、以下のとおりでした。

※救命救急センター等とは、救命救急センター、地域で救命救急センターに準じて取り扱われる施設（大学病院救急部など）をいいます。

##### (1) 医療機関に受入の照会を行った回数ごとの件数

受入医療機関が決定するまでに行った照会回数が4回以上のものは6,990件、6回以上のものは2,910件、11回以上のものも802件ありました。最大照会回数は、63回でした。（表2参照）

##### (2) 現場滞在時間区分ごとの件数

現場滞在時間が30分以上のものは7,798件、60分以上のものは964件、90分以上のものは223件、120分以上のものは73件、150分以上のものも31件ありました。（表3参照）

##### (3) 受入に至らなかった理由別ごとの件数

受入に至らなかった主な理由は、「処置困難」（24.7%）、「手術中・患者対応中」（21.2%）、「ベッド満床」（21.0%）、「専門外」（9.3%）となっています。（表4参照）

##### (4) 照会回数11回以上の事案

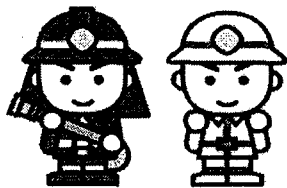
① 受入に至らなかった主な理由は、「処置困難」（36.8%）、「ベッド満床」（17.7%）、「手術中・患者対応中」（15.5%）、「専門外」（10.3%）となっています。（表5-1参照）

② 傷病程度は、「重症以上」（31.7%）、「中等症」（57.9%）、「軽症・その他」（10.4%）となっています。（表5-2参照）

③ 覚知時間別の分布は、20時から翌6時の時間帯に多くみられます。（図4参照）

##### (5) 救急患者受入率

救命救急センター等搬送事案を他の事案と明確に区分している280本部における、救命救急センター等の救急患者受入率（照会数に対する受入数の割合）を分析したところ、首都圏、近畿圏等の大都市周辺部において、受入率が低い傾向が見られました。



消太

（連絡先）

総務省消防庁救急企画室

Tel : 03-5253-5111 (内 7976)

Tel : 03-5253-7529

担当：松野、小板橋、小浜

s.kohama@soumu.go.jp

表 1

傷病者搬送の状況（平成19年）

	搬送人員		各搬送人員の全体に対する割合	集計不能本部
	うち転院搬送人員（割合）			
総救急搬送人員	4,918,479 人			
	454,477 人（9.2%）			
重症以上傷病者	530,671 人		10.8%	12
	119,046 人（22.4%）			
産科・周産期傷病者	46,978 人		1.0%	19
	22,805 人（48.5%）			
小児傷病者	386,221 人		7.9%	7
	32,175 人（8.3%）			
救命救急センター等搬送傷病者	157,880 人		3.2%	527
	23,838 人（15.1%）			

表 2

医療機関に受入の照会を行った回数ごとの件数

		1回	2~3回	4~5回	6~10回	11回~	計	最大照会回数	集計不能本部
		重症以上傷病者	件数	309,230	44,609	8,989	4,324		
	割合	84.0%	12.1%	2.4%	1.2%	0.3%	100%		
産科・周産期傷病者	件数	18,500	2,944	721	310	53	22,528	43	118
	割合	82.1%	13.1%	3.2%	1.4%	0.2%	100%		
小児傷病者	件数	263,925	45,210	6,377	2,021	220	317,753	35	123
	割合	83.1%	14.2%	2.0%	0.6%	0.1%	100%		
救命救急センター等搬送傷病者	件数	97,323	17,258	4,080	2,108	802	121,571	63	559
	割合	80.1%	14.2%	3.4%	1.7%	0.7%	100%		

表 3

現場滞在時間区分ごとの件数

		30分未満	30分以上	60分以上	90分以上	120分以上	150分以上	計	集計 不能 本部
重症以上傷病者	件数	372,327	13,935	1,316	252	88	65	387,983	74
	割合	96.0%	3.6%	0.3%	0.1%	0.02%	0.02%	100%	
産科・周産期傷病者	件数	22,159	1,224	83	16	9	3	23,494	64
	割合	94.3%	5.2%	0.4%	0.1%	0.04%	0.01%	100%	
小児傷病者	件数	330,213	4,883	191	22	11	5	335,325	71
	割合	98.5%	1.5%	0.1%	0.01%	—	—	100%	
救命救急センター等 搬送傷病者	件数	103,264	6,834	741	150	42	31	111,062	550
	割合	93.0%	6.2%	0.7%	0.1%	0.04%	0.03%	100%	

表 4

受入に至らなかった理由ごとの件数

		手術中・患 者対応中	ベッド満 床	処置困難	専門外	医師不在	初診 (かかりつ け医なし)	理由不明 その他	計	集計 不能 本部
重症以上傷病者	件数	24,458	25,881	26,674	12,061	4,112	242	22,991	116,419	196
	割合	21.0%	22.2%	22.9%	10.4%	3.5%	0.2%	19.7%	100%	
産科・周産期傷病者	件数	1,348	713	1,520	958	510	135	1,895	7,079	163
	割合	19.0%	10.1%	21.5%	13.5%	7.2%	1.9%	26.8%	100%	
小児傷病者	件数	17,222	3,376	12,676	19,885	8,343	119	17,289	78,910	179
	割合	21.8%	4.3%	16.1%	25.2%	10.6%	0.2%	21.9%	100%	
救命救急センター等 搬送傷病者	件数	10,460	10,362	12,187	4,588	1,600	59	10,035	49,291	580
	割合	21.2%	21.0%	24.7%	9.3%	3.2%	0.1%	20.4%	100%	

表5-1

照会回数 11 回以上の事案における受入に至らなかった理由ごとの件数

		手術中・患者対応中	ベット満床	処置困難	専門外	医師不在	初診(かかりつけ医なし)	理由不明その他	合計
重症以上傷病者	件数	2,603	3,492	4,636	1,342	320	27	2,277	14,697
	割合	17.7%	23.8%	31.5%	9.1%	2.2%	0.2%	15.5%	100%
産科・周産期傷病者	件数	85	117	267	49	19	45	108	690
	割合	12.3%	17.0%	38.7%	7.1%	2.8%	6.5%	15.7%	100%
小児傷病者	件数	267	70	634	493	119	6	599	2,188
	割合	12.2%	3.2%	29.0%	22.5%	5.4%	0.3%	27.4%	100%
救命救急センター等搬送傷病者	件数	1,317	1,507	3,131	877	104	12	1,563	8,511
	割合	15.5%	17.7%	36.8%	10.3%	1.2%	0.1%	18.4%	100%

表5-2

照会回数 11 回以上の事案における傷病程度別搬送人員

		重症以上	中等症	軽症・その他
産科・周産期傷病者	件数	6	36	15
	割合	10.5%	63.2%	26.3%
小児傷病者	件数	7	62	151
	割合	3.2%	28.2%	68.6%
救命救急センター等搬送傷病者	件数	242	442	79
	割合	31.7%	57.9%	10.4%

図 1

照会回数 11 回以上の事案における覚知時間別の分布（重症以上傷病者）

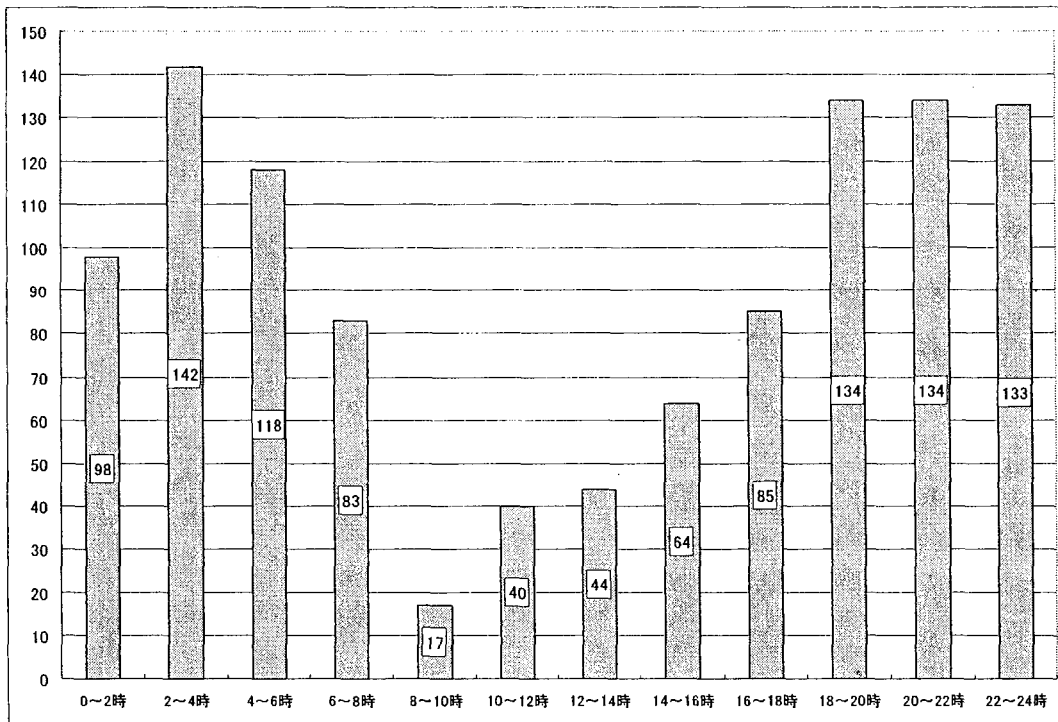


図 2

照会回数 11 回以上の事案における覚知時間別の分布（産科・周産期傷病者）

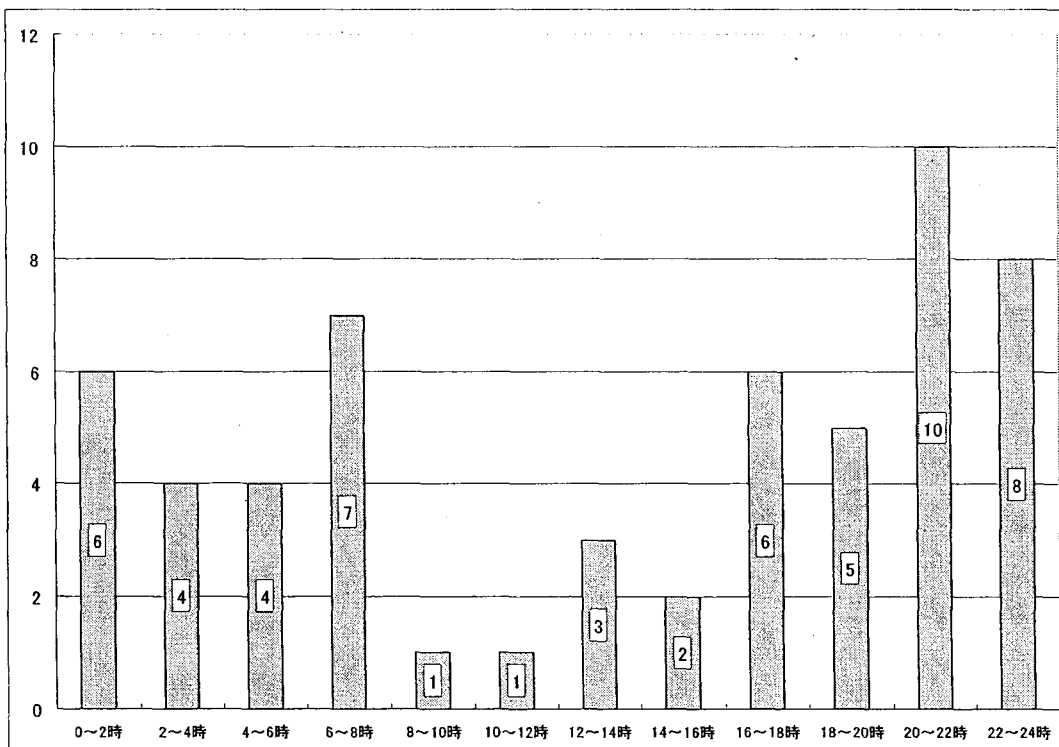




図 3

照会回数 11 回以上の事案における覚知時間別の分布 (小児傷病者)

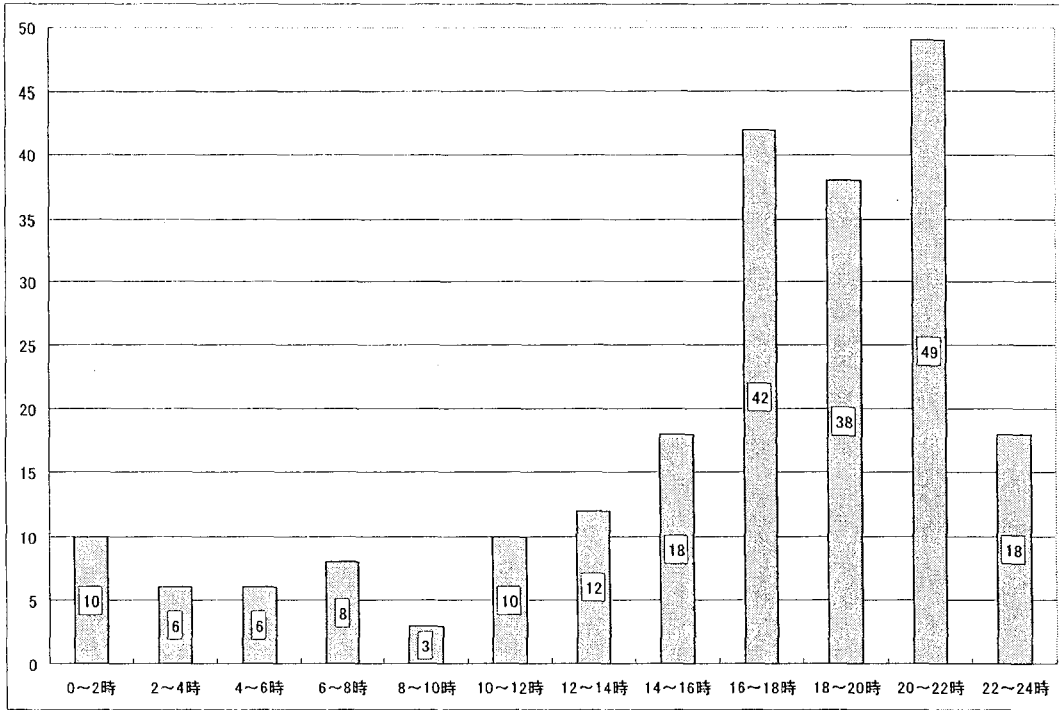


図 4

照会回数 11 回以上の事案における覚知時間別の分布 (救命救急センター等搬送傷病者)

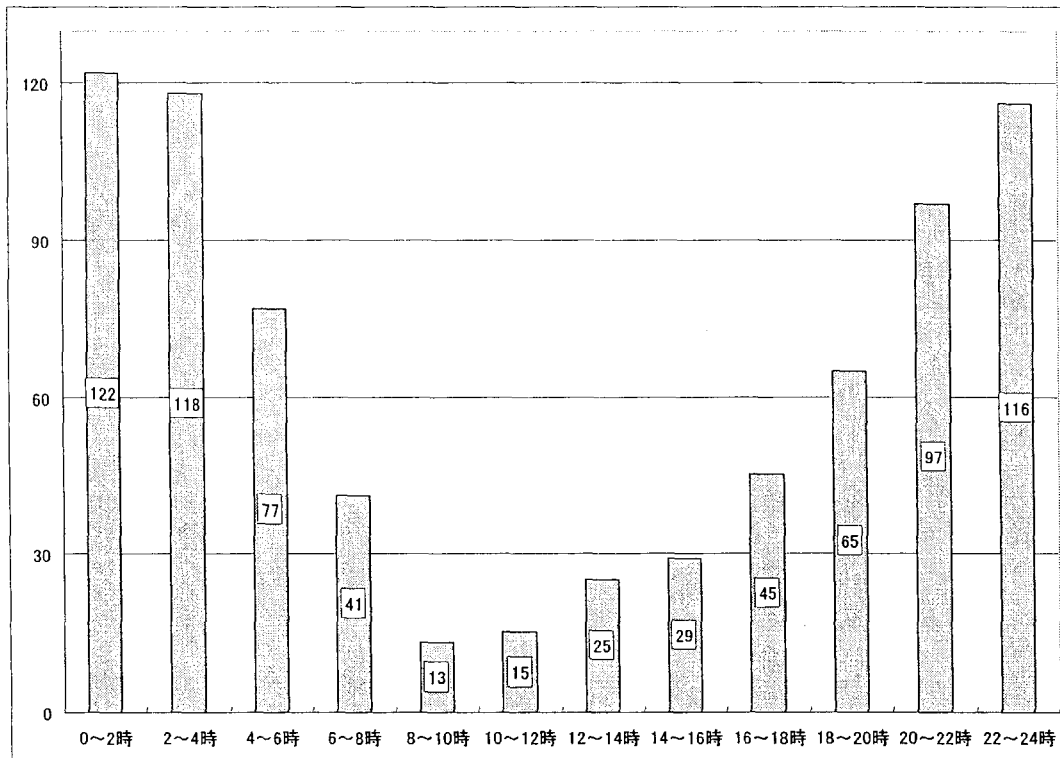
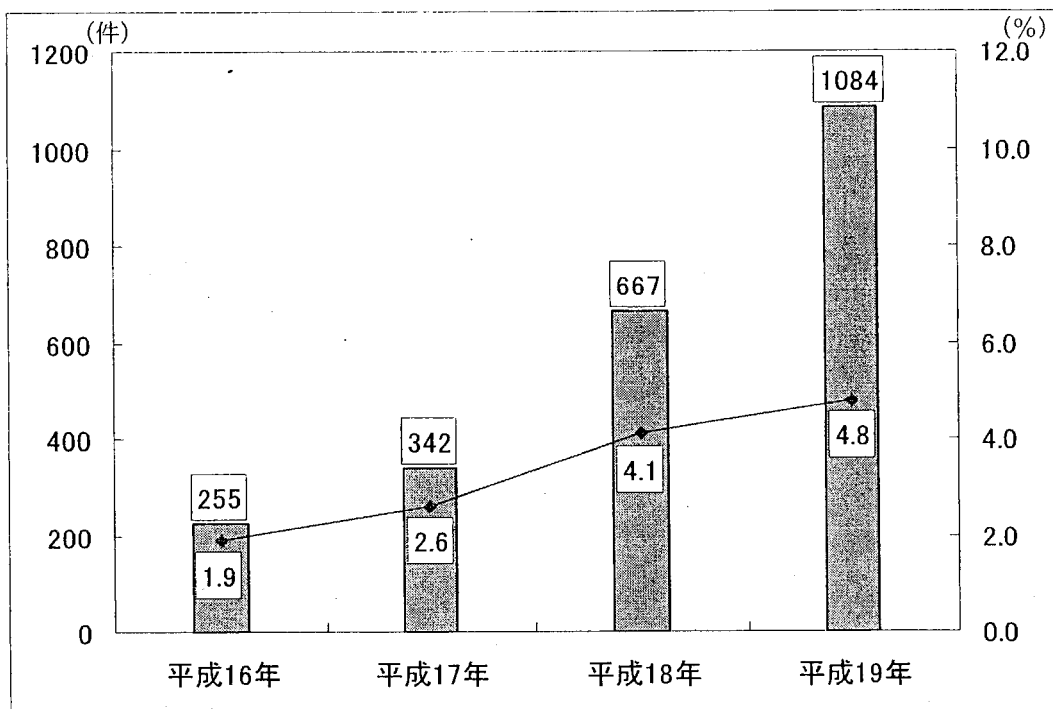


図5

照会回数4回以上の産科・周産期傷病者搬送事案の推移（件数及び割合）



重症以上傷病者搬送の状況(平成19年)

	都道府県	総救急搬送人員			重症以上搬送人員			c/a	集計不能本部
		(a)	うち 転院搬送 (b)	b/a	(c)	うち 転院搬送 (d)	d/c		
1	北海道	210,813	27,771	13.2%	24,626	6,946	28.2%	11.7%	4
2	青森県	39,225	5,803	14.8%	9,529	2,812	29.5%	24.3%	3
3	岩手県	41,119	5,290	12.9%	8,520	2,163	25.4%	20.7%	
4	宮城県	79,831	12,752	16.0%	12,898	3,739	29.0%	16.2%	
5	秋田県	34,425	3,073	8.9%	8,163	1,368	16.8%	23.7%	
6	山形県	36,982	4,185	11.3%	6,481	1,366	21.1%	17.5%	
7	福島県	67,990	6,074	8.9%	9,963	1,768	17.7%	14.7%	
8	茨城県	100,721	8,705	8.6%	12,184	2,596	21.3%	12.1%	
9	栃木県	64,260	7,546	11.7%	8,239	1,840	22.3%	12.8%	
10	群馬県	71,466	6,915	9.7%	9,617	2,153	22.4%	13.5%	
11	埼玉県	247,225	19,173	7.8%	25,661	5,270	20.5%	10.4%	
12	千葉県	238,817	21,970	9.2%	21,357	4,409	20.6%	8.9%	
13	東京都	630,855	36,160	5.7%	50,712	8,318	16.4%	8.0%	
14	神奈川県	352,857	22,286	6.3%	31,116	5,215	16.8%	8.8%	
15	新潟県	79,829	9,076	11.4%	12,206	2,658	21.8%	15.3%	
16	富山県	32,955	3,438	10.4%	4,303	852	19.8%	13.1%	
17	石川県	33,962	3,171	9.3%	6,084	1,224	20.1%	17.9%	
18	福井県	23,523	2,642	11.2%	4,501	1,008	22.4%	19.1%	
19	山梨県	32,140	2,767	8.6%	3,675	692	18.8%	11.4%	
20	長野県	77,111	7,939	10.3%	10,438	2,013	19.3%	13.5%	
21	岐阜県	71,268	5,978	8.4%	10,107	2,234	22.1%	14.2%	
22	静岡県	132,664	14,486	10.9%	12,413	2,386	19.2%	9.4%	
23	愛知県	263,708	20,385	7.7%	23,815	4,260	17.9%	9.0%	
24	三重県	70,810	5,776	8.2%	9,317	1,742	18.7%	13.2%	
25	滋賀県	49,855	2,822	5.7%	3,776	584	15.5%	7.6%	
26	京都府	109,845	5,778	5.3%	8,991	1,074	11.9%	8.2%	
27	大阪府	448,108	27,077	6.0%	11,704	1,124	9.6%	2.6%	
28	兵庫県	207,102	18,029	8.7%	19,523	4,297	22.0%	9.4%	
29	奈良県	55,187	5,565	10.1%	5,584	1,262	22.6%	10.1%	
30	和歌山県	44,697	3,894	8.7%	4,979	912	18.3%	11.1%	
31	鳥取県	20,393	2,401	11.8%	2,995	808	27.0%	14.7%	
32	島根県	25,083	2,719	10.8%	3,810	791	20.8%	15.2%	2
33	岡山県	70,544	8,310	11.8%	11,377	2,730	24.0%	16.1%	
34	広島県	105,381	13,351	12.7%	13,924	3,435	24.7%	13.2%	1
35	山口県	58,872	7,497	12.7%	7,276	2,143	29.5%	12.4%	
36	徳島県	27,781	3,778	13.6%	4,401	1,195	27.2%	15.8%	
37	香川県	40,225	5,282	13.1%	5,252	1,479	28.2%	13.1%	
38	愛媛県	54,811	6,528	11.9%	10,507	2,843	27.1%	19.2%	1
39	高知県	34,141	4,271	12.5%	5,980	1,469	24.6%	17.5%	
40	福岡県	190,820	21,743	11.4%	18,563	4,983	26.8%	9.7%	
41	佐賀県	29,127	5,570	19.1%	5,426	1,951	36.0%	18.6%	
42	長崎県	49,240	6,797	13.8%	9,208	3,107	33.7%	18.7%	
43	熊本県	66,971	8,616	12.9%	7,743	2,024	26.1%	11.6%	
44	大分県	42,923	8,607	20.1%	9,096	3,517	38.7%	21.2%	
45	宮崎県	35,005	6,044	17.3%	6,904	2,575	37.3%	19.7%	1
46	鹿児島県	63,814	11,063	17.3%	11,186	4,439	39.7%	17.5%	
47	沖縄県	53,998	5,374	10.0%	6,541	1,272	19.4%	12.1%	
	合計	4,918,479	454,477	9.2%	530,671	119,046	22.4%	10.8%	12

医療機関に受入の照会を行った回数ごとの件数(その1)

都道府県	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1 北海道	14,450	759	163	39	19	12	7	2					
2 青森県	6,334	316	50	11	3	1	2						
3 岩手県	5,501	303	70	18	4	3	1	1					
4 宮城県	6,266	1,000	460	206	111	59	47	18	25	17	4	3	3
5 秋田県	6,069	103	17	1									
6 山形県	4,871	203	25	10	2	1	1						
7 福島県	5,343	533	170	103	51	36	19	12	13	1	2	2	
8 茨城県	7,107	1,031	443	211	97	64	37	11	16	9	5	1	4
9 栃木県	5,087	733	296	138	66	36	15	8	7		3	3	
10 群馬県	6,195	747	268	116	70	24	18	8	5	3	3	2	2
11 埼玉県	15,913	2,544	1,258	644	331	236	143	82	61	35	29	26	22
12 千葉県	12,060	1,711	771	371	208	133	79	52	38	32	14	13	10
13 東京都	29,140	6,047	2,779	1,564	905	594	394	303	221	174	121	99	83
14 神奈川県	18,331	2,847	1,164	542	571	77	58	33	23	22	9	4	3
15 新潟県	7,345	552	181	74	38	22	19	6	3	2	1	2	1
16 富山県	2,514	153	25	4	1								
17 石川県	3,702	178	38	7	2	1							
18 福井県	1,938	41	3										
19 山梨県	2,358	97	32	17	8	2	8	2					1
20 長野県	6,839	295	59	14	9				1				
21 岐阜県	5,941	293	59	16	2	2							
22 静岡県	8,135	506	107	26	13	1	2						
23 愛知県	15,903	669	141	38	11	4	1	2	1	1	1		
24 三重県	4,983	447	162	46	19	21	15	5	6	4	1	2	1
25 滋賀県	2,098	467	68	17	3	2		1					
26 京都府	5,950	641	231	94	38	23	8	4	2	1			
27 大阪府	6,464	1,512	731	406	196	110	83	48	38	23	20	11	6
28 兵庫県	8,709	1,304	600	281	155	69	39	36	20	13	8	7	1
29 奈良県	2,729	578	300	188	110	77	37	36	18	20	13	10	2
30 和歌山県	3,252	223	70	43	17	5	7	1		1	1		
31 鳥取県	2,024	120	32	6	2	3							
32 島根県	1,897	59	11										
33 岡山県	6,638	711	221	74	41	19	7	2	2				
34 広島県	7,617	443	133	59	18	18	5	4	2		2	2	
35 山口県	4,503	287	80	24	10	1	1	1					
36 徳島県	2,512	210	70	13	12	3	2						
37 香川県	3,020	207	46	10	3	1							1
38 愛媛県	7,176	339	74	19	5	3	3						
39 高知県	3,701	316	59	13	2								
40 福岡県	11,218	788	151	48	17	8	3						
41 佐賀県	2,915	344	111	58	15	13	6	3	1	1			
42 長崎県	4,485	338	84	36	12	1	1		2				
43 熊本県	3,025	157	38	9	3	1							
44 大分県	3,795	243	57	22	7	1							
45 宮崎県	2,987	349	123	35	20	8	1	2					
46 鹿児島県	5,347	534	158	59	23	6	2	3		2		2	
47 沖縄県	4,843	128	14	8	1								
合計	309,230	32,406	12,203	5,738	3,251	1,701	1,071	686	505	361	237	190	139

医療機関に受入の照会を行った回数ごとの件数(その2)

	都道府県	14	15	16	17	18	19	20	21~	計	4回 以上	6回 以上	11回 以上	最大 照会 回数	集計 不能 本部
1	北海道									15,451	79	21		8	9
2	青森県									6,717	17	3		7	
3	岩手県									5,901	27	5		8	1
4	宮城県	3	2	2	3	1	1	2	2	8,235	509	192	26	22	3
5	秋田県									6,190	1			4	3
6	山形県									5,113	14	2		7	
7	福島県		1	1				1		6,288	242	88	7	20	4
8	茨城県	1	2	1						9,040	459	151	14	16	1
9	栃木県		3	1			1			6,397	281	77	11	19	
10	群馬県	1	1			1				7,464	254	68	10	18	
11	埼玉県	8	12	10	3	5		2	12	21,376	1,661	686	129	35	
12	千葉県	7	8	5	1	3	2		3	15,521	979	400	66	33	5
13	東京都	60	39	35	32	17	18	16	94	42,735	4,769	2,300	614	50	
14	神奈川県	5	3	2		2	1	2	1	23,700	1,358	245	32	29	6
15	新潟県	1	1							8,248	170	58	6	15	2
16	富山県									2,697	5			5	3
17	石川県									3,928	10	1		6	2
18	福井県									1,982				3	3
19	山梨県								1	2,526	39	14	2	22	1
20	長野県									7,217	24	1		9	2
21	岐阜県									6,313	20	2		6	5
22	静岡県									8,790	42	3		7	4
23	愛知県									16,772	59	10	1	11	13
24	三重県		1							5,713	121	56	5	15	3
25	滋賀県									2,656	23	3		8	3
26	京都府	1								6,993	171	39	1	14	3
27	大阪府	9	7	6	1	1	3	1	6	9,682	975	373	71	40	6
28	兵庫県	4	3	3	1				1	11,254	641	205	28	21	10
29	奈良県	3	3		3	1	3		3	4,134	527	229	41	25	1
30	和歌山県									3,620	75	15	1	11	1
31	鳥取県									2,187	11	3		6	
32	島根県									1,967				3	2
33	岡山県									7,715	145	30		9	3
34	広島県									8,303	110	33	4	12	4
35	山口県									4,907	37	3		8	1
36	徳島県									2,822	30	5		7	1
37	香川県									3,288	15	2	1	12	1
38	愛媛県									7,619	30	6		7	1
39	高知県									4,091	15			5	2
40	福岡県									12,233	76	11		7	6
41	佐賀県									3,467	97	24		10	
42	長崎県									4,959	52	4		9	2
43	熊本県									3,233	13	1		6	4
44	大分県									4,125	30	1		6	5
45	宮崎県	1								3,526	67	12	1	14	4
46	鹿児島県		1							6,137	98	16	3	15	3
47	沖縄県									4,994	9			5	1
	合計	104	87	66	44	31	29	24	123	368,226	14,387	5,398	1,074		134

現場滞在時間区分ごとの件数(重症以上)

	都道府県	30分未満	30分以上	60分以上	90分以上	120分以上	150分以上	合計	集計 不能 本部
1	北海道	15,745	235	20	4	1	1	16,006	7
2	青森県	6,657	53	2			5	6,717	
3	岩手県	6,237	102	6	1			6,346	
4	宮城県	8,342	498	49	5	4	1	8,899	1
5	秋田県	6,759	30	4	2			6,795	
6	山形県	5,086	26	1				5,113	
7	福島県	8,074	109	7	3	1	1	8,195	
8	茨城県	7,851	313	15	7	1	1	8,188	2
9	栃木県	6,104	272	16	5			6,397	
10	群馬県	6,900	149	13	3			7,065	1
11	埼玉県	18,308	1,988	196	47	7	4	20,550	1
12	千葉県	13,821	1,268	108	21	9	3	15,230	5
13	東京都	38,542	3,723	428	66	25	17	42,801	
14	神奈川県	23,876	1,596	145	28	13	6	25,664	1
15	新潟県	7,678	219	13	7	2	1	7,920	2
16	富山県	3,432	17	1		1		3,451	
17	石川県	4,739	33	6	1		1	4,780	
18	福井県	3,684	14					3,698	
19	山梨県	2,927	50	5	1			2,983	
20	長野県	7,980	96	13	1			8,090	1
21	岐阜県	6,923	74	8	4	2		7,011	3
22	静岡県	8,860	131	14		1	2	9,008	3
23	愛知県	19,032	240	29	8	1	2	19,312	1
24	三重県	5,848	145	8		1	1	6,003	3
25	滋賀県	2,494	24	1	1	1		2,521	2
26	京都府	7,865	102	8	2	1	1	7,979	3
27	大阪府	9,727	440	24	7	3	1	10,202	3
28	兵庫県	12,572	521	28	2	1	1	13,125	5
29	奈良県	3,826	304	18	4	1	1	4,154	1
30	和歌山県	4,027	35	2	1	2		4,067	
31	鳥取県	2,163	23		1			2,187	
32	島根県	2,979	36	3			1	3,019	
33	岡山県	7,764	69	11	1	2	3	7,850	3
34	広島県	7,098	253	23	1		3	7,378	5
35	山口県	4,806	53	9	1	2	1	4,872	1
36	徳島県	3,180	22	2				3,204	
37	香川県	3,740	29	3	1			3,773	
38	愛媛県	8,760	56	5	3	1	1	8,826	
39	高知県	4,005	27	6		1		4,039	2
40	福岡県	12,817	93	16	5	1	1	12,933	3
41	佐賀県	3,041	47	2	1			3,091	1
42	長崎県	4,002	77	7				4,086	1
43	熊本県	4,026	61	10	1		2	4,100	4
44	大分県	5,422	79	12	1			5,514	2
45	宮崎県	3,596	76	6	1		1	3,680	3
46	鹿児島県	5,800	81	5	3	2	1	5,892	4
47	沖縄県	5,212	46	8	1	1	1	5,269	
	合計	372,327	13,935	1,316	252	88	65	387,983	74

照会するも受入に至らなかった理由とその件数(重症以上:全事案)

	都道府県	手術中・患者対応中	ベット満床	処置困難	専門外	医師不在	初診(かかりつけ医なし)	理由不明その他	合計	集計不能本部
1	北海道	200	167	255	177	119	11	341	1,270	8
2	青森県	41	46	66	60	34	6	114	367	1
3	岩手県	148	36	142	95	33		91	545	
4	宮城県	682	905	938	399	117	8	1,270	4,319	3
5	秋田県	59	7	12	45	6	1	10	140	3
6	山形県	53	55	33	30	18	1	37	227	2
7	福島県	199	169	748	365	80	8	266	1,835	6
8	茨城県	870	646	570	979	126		666	3,857	2
9	栃木県	497	558	379	374	104	9	559	2,480	
10	群馬県	301	355	398	272	99	1	431	1,857	2
11	埼玉県	2,125	3,433	2,993	2,294	499	19	1,812	13,175	1
12	千葉県	1,128	1,071	908	536	319	12	3,831	7,805	8
13	東京都	9,995	10,261	12,033	1,505	442	86	4,421	38,743	
14	神奈川県	2,271	2,852	1,913	941	408		1,214	9,599	7
15	新潟県	105	127	264	239	52	17	863	1,667	2
16	富山県	7	22	74	11	43		62	219	3
17	石川県	61	46	24	58	19		80	288	2
18	福井県	9	5	14	5	10		3	46	3
19	山梨県	27	25	50	40	17	12	85	256	4
20	長野県	76	80	154	43	48	2	96	499	2
21	岐阜県	114	90	41	36	17	1	148	447	7
22	静岡県	40	79	312	116	107		205	859	7
23	愛知県	141	280	245	84	82	2	229	1,063	16
24	三重県	34	61	64	81	30		123	393	6
25	滋賀県	79	18	88	47	2		28	262	4
26	京都府	533	314	192	183	30	5	495	1,752	3
27	大阪府	421	617	362	175	53	1	1,222	2,851	16
28	兵庫県	1,070	919	744	937	174	2	1,124	4,970	11
29	奈良県	881	428	232	501	86	1	870	2,999	3
30	和歌山県	155	95	76	124	24	4	80	558	3
31	鳥取県	50	54	37	38	5	14	27	225	
32	島根県	9	8	31	9	2		22	81	2
33	岡山県	178	253	360	308	140	1	329	1,569	5
34	広島県	401	435	518	123	89	4	247	1,817	8
35	山口県	74	83	125	105	33	4	105	529	2
36	徳島県	74	120	50	44	46	1	98	433	2
37	香川県	46	46	102	58	26		75	353	1
38	愛媛県	82	55	151	54	121	1	133	597	1
39	高知県	36	107	84	61	33	2	76	399	3
40	福岡県	277	318	255	113	62	4	269	1,298	9
41	佐賀県	120	130	169	137	111	1	271	939	
42	長崎県	103	95	169	76	39		200	682	2
43	熊本県	37	43	51	15	16	1	24	187	6
44	大分県	464	112	125	38				739	6
45	宮崎県	87	111	3		105		172	478	6
46	鹿児島県	95	117	103	126	85		127	653	7
47	沖縄県	3	27	17	4	1		40	92	1
	合計	24,458	25,881	26,674	12,061	4,112	242	22,991	116,419	196

照会するも受入に至らなかった理由とその件数(重症以上:照会回数11回以上の事案)

	都道府県	手術中・患者対応中	ベット満床	処置困難	専門外	医師不在	初診(かかりつけ医なし)	理由不明その他	合計
1	北海道								
2	青森県								
3	岩手県								
4	宮城県	59	77	70	50	11		102	369
5	秋田県								
6	山形県								
7	福島県	6	11	38	23			12	90
8	茨城県	28	27	34	50	5		21	165
9	栃木県	31	45	7	26	6	2	22	139
10	群馬県	19	24	9	14	22		33	121
11	埼玉県	169	505	441	391	59		160	1,725
12	千葉県	166	106	73	83	48	3	405	884
13	東京都	1,688	2,253	3,615	391	89	19	828	8,883
14	神奈川県	101	215	75	55	19		45	510
15	新潟県	2	6	14	18		1	30	71
16	富山県								
17	石川県								
18	福井県								
19	山梨県		1	13	6			2	22
20	長野県								
21	岐阜県								
22	静岡県								
23	愛知県					7		3	10
24	三重県	3	17	7	15	1		15	58
25	滋賀県								
26	京都府		4	1	3	5			13
27	大阪府	55	85	109	61	9	1	334	654
28	兵庫県	43	45	59	89	18		93	347
29	奈良県	222	58	56	64	10	1	113	524
30	和歌山県	1		2		1		6	10
31	鳥取県								
32	島根県								
33	岡山県								
34	広島県	9	10	13	3			7	42
35	山口県								
36	徳島県								
37	香川県					9		2	11
38	愛媛県								
39	高知県								
40	福岡県								
41	佐賀県								
42	長崎県								
43	熊本県								
44	大分県								
45	宮崎県	1	3			1		8	13
46	鹿児島県							36	36
47	沖縄県								
	合計	2,603	3,492	4,636	1,342	320	27	2,277	14,697



## 産科・周産期傷病者搬送の状況(平成19年)

	都道府県	総救急搬送 人員(a)	うち転院 搬送(b)	b/a	産科・周産 期傷病者搬 送人員(c)	うち 転院搬送 (d)	d/c	c/a	集計 不能 本部	産科・産婦 人科医療 機関数	集計 不能 本部
1	北海道	210,813	27,771	13.2%	1,887	796	42.2%	0.9%	2	229	
2	青森県	39,225	5,803	14.8%	383	298	77.8%	1.0%		57	
3	岩手県	41,119	5,290	12.9%	347	239	68.9%	0.8%		66	
4	宮城県	79,831	12,752	16.0%	759	462	60.9%	1.0%		110	
5	秋田県	34,425	3,073	8.9%	306	231	75.5%	0.9%		49	
6	山形県	36,982	4,185	11.3%	349	181	51.9%	0.9%		59	
7	福島県	67,990	6,074	8.9%	568	384	67.6%	0.8%		100	
8	茨城県	100,721	8,705	8.6%	1,036	490	47.3%	1.0%		78	3
9	栃木県	64,260	7,546	11.7%	854	551	64.5%	1.3%		95	
10	群馬県	71,466	6,915	9.7%	818	463	56.6%	1.1%	1	116	
11	埼玉県	247,225	19,173	7.8%	2,979	1,084	36.4%	1.2%		270	
12	千葉県	238,817	21,970	9.2%	1,999	993	49.7%	0.8%	2	228	2
13	東京都	630,855	36,160	5.7%	4,354	2,100	48.2%	0.7%		116	
14	神奈川県	352,857	22,286	6.3%	3,442	1,316	38.2%	1.0%	1	399	1
15	新潟県	79,829	9,076	11.4%	823	440	53.5%	1.0%		85	
16	富山県	32,955	3,438	10.4%	314	190	60.5%	1.0%		62	
17	石川県	33,962	3,171	9.3%	205	107	52.2%	0.6%		68	
18	福井県	23,523	2,642	11.2%	164	103	62.8%	0.7%		36	
19	山梨県	32,140	2,767	8.6%	276	127	46.0%	0.9%	1	16	2
20	長野県	77,111	7,939	10.3%	601	359	59.7%	0.8%		97	
21	岐阜県	71,268	5,978	8.4%	656	363	55.3%	0.9%	1	113	
22	静岡県	132,664	14,486	10.9%	1,204	657	54.6%	0.9%	2	255	1
23	愛知県	263,708	20,385	7.7%	2,547	1,438	56.5%	1.0%		284	3
24	三重県	70,810	5,776	8.2%	484	239	49.4%	0.7%	1	72	
25	滋賀県	49,855	2,822	5.7%	414	217	52.4%	0.8%	1	28	1
26	京都府	109,845	5,778	5.3%	706	424	60.1%	0.6%	1	147	
27	大阪府	448,108	27,077	6.0%	5,689	1,691	29.7%	1.3%	1	416	
28	兵庫県	207,102	18,029	8.7%	2,255	885	39.2%	1.1%		300	
29	奈良県	55,187	5,565	10.1%	657	241	36.7%	1.2%		108	1
30	和歌山県	44,697	3,894	8.7%	238	107	45.0%	0.5%		67	
31	鳥取県	20,393	2,401	11.8%	202	128	63.4%	1.0%		29	
32	島根県	25,083	2,719	10.8%	143	93	65.0%	0.6%		42	
33	岡山県	70,544	8,310	11.8%	544	238	43.8%	0.8%		41	
34	広島県	105,381	13,351	12.7%	858	451	52.6%	0.8%	1	147	
35	山口県	58,872	7,497	12.7%	450	265	58.9%	0.8%		70	
36	徳島県	27,781	3,778	13.6%	281	131	46.6%	1.0%		45	1
37	香川県	40,225	5,282	13.1%	303	155	51.2%	0.8%		45	
38	愛媛県	54,811	6,528	11.9%	675	454	67.3%	1.2%		66	
39	高知県	34,141	4,271	12.5%	185	97	52.4%	0.5%	1	33	
40	福岡県	190,820	21,743	11.4%	1,900	1,099	57.8%	1.0%		233	
41	佐賀県	29,127	5,570	19.1%	401	294	73.3%	1.4%	1	54	
42	長崎県	49,240	6,797	13.8%	517	306	59.2%	1.0%		83	
43	熊本県	66,971	8,616	12.9%	520	301	57.9%	0.8%		69	2
44	大分県	42,923	8,607	20.1%	422	228	54.0%	1.0%	1	51	
45	宮崎県	35,005	6,044	17.3%	639	479	75.0%	1.8%		66	
46	鹿児島県	63,814	11,063	17.3%	789	417	52.9%	1.2%	1	77	
47	沖縄県	53,998	5,374	10.0%	835	493	59.0%	1.5%		34	2
	合計	4,918,479	454,477	9.2%	46,978	22,805	48.5%	1.0%	19	5,311	19

医療機関に受入の照会を行った回数ごとの件数(その1)

都道府県	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
1 北海道	881	81	24	13	2	4		1	1						1
2 青森県	69	7	1												
3 岩手県	90	5	1	1											
4 宮城県	183	36	14	5	6	2		1					1		
5 秋田県	71	2													
6 山形県	155	7	1	2											
7 福島県	132	9	3	2	1				1						
8 茨城県	447	38	25	10	8	7	5	1	2	1				1	
9 栃木県	235	16	10	10		2									
10 群馬県	321	22	8	4											
11 埼玉県	1,535	192	95	45	16	10	6	1	2	2	1				1
12 千葉県	720	90	47	25	9	10	6	3	1	1		1			
13 東京都	1,694	207	120	72	46	21	15	21	19	5	7	7	1	3	1
14 神奈川県	1,494	232	118	74	83	12	9	1	2		2	1			
15 新潟県	318	24	6	1	2	1				1					
16 富山県	114	8	2												
17 石川県	69	2	5	1	1	1									
18 福井県	59	1													
19 山梨県	142	5	1	1											
20 長野県	219	6	6		1										
21 岐阜県	245	19	6	4				1							
22 静岡県	479	32	9	2	1			1							
23 愛知県	889	42	13	2	1										
24 三重県	133	20	10		1	1									
25 滋賀県	99	43	9	4	1										
26 京都府	271	19	2	2	1										
27 大阪府	2,873	450	227	107	68	41	30	19	9	8	2		1	2	
28 兵庫県	919	127	49	21	12	2		1	1	1			1		
29 奈良県	285	55	26	7	7	2	2					1			
30 和歌山県	107	11	4		1	1		1							
31 鳥取県	68	6													
32 島根県	26	1													
33 岡山県	253	23	6	4											
34 広島県	299	14	5	2		1									
35 山口県	153	12	2	1	1										
36 徳島県	131	4	4												
37 香川県	117	12				1									
38 愛媛県	201	11	1	1											
39 高知県	80	5	2	1											
40 福岡県	606	60	16	14	2	1	2	1	1						
41 佐賀県	95	7	3	1				1							
42 長崎県	190	10	2	3	1										
43 熊本県	126	11													
44 大分県	167	10	1	1											
45 宮崎県	114	8	3	2											
46 鹿児島県	299	27	14	3		1	2								
47 沖縄県	327	11	3	1											
合計	18,500	2,040	904	449	272	121	77	54	39	19	12	10	4	6	3

医療機関に受入の照会を行った回数ごとの件数(その2)

	都道府県	16	17	18	19	20	21~	計	4回以上	6回以上	11回以上	最大照会回数	集計不能本部
1	北海道							1,008	22	7	1	15	7
2	青森県							77				3	
3	岩手県							97	1			4	1
4	宮城県							248	15	4	1	13	3
5	秋田県							73				2	1
6	山形県							165	2			4	
7	福島県							148	4	1		9	4
8	茨城県							545	35	17	1	14	
9	栃木県							273	12	2		6	
10	群馬県							355	4			4	1
11	埼玉県							1,906	84	23	2	15	1
12	千葉県				1		1	915	58	24	3	43	5
13	東京都	1	3	2	5		1	2,251	230	112	31	28	1
14	神奈川県					1	2	2,031	187	30	6	30	6
15	新潟県							353	5	2		10	1
16	富山県							124				3	3
17	石川県							79	3	1		6	1
18	福井県							60				2	1
19	山梨県							149	1			4	1
20	長野県							232	1			5	1
21	岐阜県							275	5	1		8	4
22	静岡県							524	4	1		8	4
23	愛知県							947	3			5	12
24	三重県							165	2	1		6	4
25	滋賀県							156	5			5	3
26	京都府							295	3			5	3
27	大阪府	1						3,838	288	113	6	16	6
28	兵庫県							1,134	39	6	1	13	11
29	奈良県							385	19	5	1	12	
30	和歌山県							125	3	2		8	1
31	鳥取県							74				2	
32	島根県							27				2	2
33	岡山県							286	4			4	3
34	広島県							321	3	1		6	3
35	山口県							169	2			5	
36	徳島県							139				3	1
37	香川県							130	1	1		6	1
38	愛媛県							214	1			4	1
39	高知県							88	1			4	2
40	福岡県							703	21	5		9	6
41	佐賀県							107	2	1		8	
42	長崎県							206	4			5	
43	熊本県							137				2	3
44	大分県							179	1			4	3
45	宮崎県							127	2			4	3
46	鹿児島県							346	6	3		7	4
47	沖縄県							342	1			4	
	合計	2	3	2	6	1	4	22,528	1,084	363	53		118

現場滞在時間区分ごとの件数(産科・周産期)

	都道府県	30分未満	30分以上	60分以上	90分以上	120分以上	150分以上	合計	集計 不能 本部
1	北海道	1,040	35	3				1,078	4
2	青森県	76	1					77	
3	岩手県	106	1					107	
4	宮城県	276	8	2				286	1
5	秋田県	75						75	
6	山形県	165						165	
7	福島県	182	2					184	
8	茨城県	440	22	2	2			466	1
9	栃木県	276	18	1				295	
10	群馬県	351	4					355	1
11	埼玉県	1,767	127	9	2	1		1,906	1
12	千葉県	854	91	4		1		950	5
13	東京都	1,956	264	24	3	6	1	2,254	
14	神奈川県	1,834	257	17	3		1	2,112	1
15	新潟県	320	9					329	2
16	富山県	123	1					124	
17	石川県	94	2					96	
18	福井県	71						71	
19	山梨県	142	5	1	1			149	1
20	長野県	224	2					226	1
21	岐阜県	280	2					282	4
22	静岡県	516	5					521	4
23	愛知県	1,069	11	1		1		1,082	1
24	三重県	207	5					212	3
25	滋賀県	135	3					138	2
26	京都府	289	6					295	3
27	大阪府	3,747	202	17	4			3,970	3
28	兵庫県	1,314	57					1,371	4
29	奈良県	391	25	1				417	
30	和歌山県	128	3					131	
31	鳥取県	74						74	
32	島根県	50						50	
33	岡山県	286	3					289	2
34	広島県	284	11					295	4
35	山口県	174	1	1				176	
36	徳島県	150						150	
37	香川県	146	2					148	
38	愛媛県	243	4					247	1
39	高知県	83						83	2
40	福岡県	834	10					844	3
41	佐賀県	105	2					107	
42	長崎県	88	1					89	1
43	熊本県	154	1				1	156	3
44	大分県	193	4					197	1
45	宮崎県	154	6					160	1
46	鹿児島県	357	5		1			363	4
47	沖縄県	336	6					342	
	合計	22,159	1,224	83	16	9	3	23,494	64

照会するも受入に至らなかった理由とその件数(産科・周産期:全事案)

	都道府県	手術中・患者対応中	ベット満床	処置困難	専門外	医師不在	初診 (かかりつけ 医なし)	理由不明 その他	合計	集計 不能 本部
1	北海道	33	20	39	21	35	26	46	220	8
2	青森県			1	1	1	1	5	9	
3	岩手県	2		1	5	1		1	10	1
4	宮城県	10	13	34	13	18	3	41	132	3
5	秋田県			1	1				2	1
6	山形県		1	2	6	1	1	4	15	1
7	福島県	3		7	6	1	1	5	23	6
8	茨城県	58	11	38	85	29		46	267	1
9	栃木県	8	10	21	8	10	2	24	83	
10	群馬県	5	1	13	16	8		3	46	2
11	埼玉県	164	73	173	168	55	2	196	831	1
12	千葉県	58	36	36	51	34	33	235	483	6
13	東京都	424	306	689	72	36	32	258	1,817	
14	神奈川県	324	118	189	129	74		277	1,111	10
15	新潟県	4		4	12	8	2	31	61	1
16	富山県			3	2	3		4	12	
17	石川県	2	2	3	10	6		1	24	1
18	福井県			1					1	
19	山梨県			1	1	1			3	2
20	長野県	2	1	4	5	4		6	22	1
21	岐阜県	7	2	4	14	8	3	12	50	4
22	静岡県	4	3	19	10	10	1	18	65	5
23	愛知県	11	9	10	10	7		25	72	16
24	三重県	2	1	4	10	5		12	34	7
25	滋賀県	6	1	14	7	4	1	5	38	4
26	京都府	10	2		4	1		16	33	3
27	大阪府	99	36	60	97	36	5	320	653	15
28	兵庫県	51	22	56	87	28	7	119	370	12
29	奈良県	17	5	13	27	7		55	124	1
30	和歌山県	5	1	4	3	7		5	25	3
31	鳥取県	1		3	2				6	
32	島根県			1					1	2
33	岡山県	3	4	10	6	7		16	46	4
34	広島県	3	2	8	4	5		3	25	7
35	山口県	2	2	7	4	3		4	22	1
36	徳島県	5	3		3			1	12	1
37	香川県	1		3	3	6		4	17	1
38	愛媛県			3	3	3		7	16	1
39	高知県	2	1		1	3		2	9	2
40	福岡県	13	21	17	30	27	11	53	172	9
41	佐賀県		1	5	4			13	23	
42	長崎県	5	2	5	10			3	25	1
43	熊本県			1	2		1	1	5	4
44	大分県	1	2	2	1	4		4	14	3
45	宮崎県	1				3		3	7	5
46	鹿児島県	2		8	4	10		6	30	6
47	沖縄県		1	3		1	3	5	13	1
	合計	1,348	713	1,520	958	510	135	1,895	7,079	163

照会するも受入に至らなかった理由とその件数(産科・周産期:照会回数11回以上の事案)

	都道府県	手術中・患者対応中	ベット満床	処置困難	専門外	医師不在	初診 (かかりつけ 医なし)	理由不明 その他	合計
1	北海道		5	1		2	6		14
2	青森県								
3	岩手県								
4	宮城県	1	1	2	5	1		2	12
5	秋田県								
6	山形県								
7	福島県								
8	茨城県	5		3	13			2	23
9	栃木県								
10	群馬県								
11	埼玉県		9	6	9	1			25
12	千葉県	5	1	1	2	8	27	27	71
13	東京都	62	89	238	17	5	6	60	477
14	神奈川県	2	11	12	2	2		4	33
15	新潟県								
16	富山県								
17	石川県								
18	福井県								
19	山梨県								
20	長野県								
21	岐阜県								
22	静岡県								
23	愛知県								
24	三重県								
25	滋賀県								
26	京都府								
27	大阪府							12	12
28	兵庫県	2	1	3	1		5		12
29	奈良県	8		1			1	1	11
30	和歌山県								
31	鳥取県								
32	島根県								
33	岡山県								
34	広島県								
35	山口県								
36	徳島県								
37	香川県								
38	愛媛県								
39	高知県								
40	福岡県								
41	佐賀県								
42	長崎県								
43	熊本県								
44	大分県								
45	宮崎県								
46	鹿児島県								
47	沖縄県								
	合計	85	117	267	49	19	45	108	690

小児傷病者搬送の状況(平成19年)

	都道府県	総搬送人員			小児傷病者搬送人員			c/a	集計不能本部	小児科医療機関数	集計不能本部
		(a)	うち 転院搬送 (b)	b/a	(c)	うち 転院搬送 (d)	d/c				
1	北海道	210,813	27,771	13.2%	13,791	1,726	12.5%	6.5%		850	
2	青森県	39,225	5,803	14.8%	2,618	249	9.5%	6.7%		249	
3	岩手県	41,119	5,290	12.9%	2,722	253	9.3%	6.6%		134	
4	宮城県	79,831	12,752	16.0%	6,136	809	13.2%	7.7%		400	
5	秋田県	34,425	3,073	8.9%	1,752	162	9.2%	5.1%		149	
6	山形県	36,982	4,185	11.3%	2,030	174	8.6%	5.5%		157	
7	福島県	67,990	6,074	8.9%	5,145	396	7.7%	7.6%		543	
8	茨城県	100,721	8,705	8.6%	8,288	555	6.7%	8.2%		310	4
9	栃木県	64,260	7,546	11.7%	5,184	555	10.7%	8.1%		434	
10	群馬県	71,466	6,915	9.7%	6,322	517	8.2%	8.8%		396	
11	埼玉県	247,225	19,173	7.8%	25,167	2,100	8.3%	10.2%		1,246	
12	千葉県	238,817	21,970	9.2%	22,693	2,319	10.2%	9.5%	1	882	2
13	東京都	630,855	36,160	5.7%	49,899	3,031	6.1%	7.9%		218	
14	神奈川県	352,857	22,286	6.3%	29,564	2,208	7.5%	8.4%	1	1,534	2
15	新潟県	79,829	9,076	11.4%	5,313	610	11.5%	6.7%		243	
16	富山県	32,955	3,438	10.4%	2,241	213	9.5%	6.8%		229	
17	石川県	33,962	3,171	9.3%	2,426	119	4.9%	7.1%		214	
18	福井県	23,523	2,642	11.2%	1,648	150	9.1%	7.0%		153	
19	山梨県	32,140	2,767	8.6%	2,629	296	11.3%	8.2%		91	3
20	長野県	77,111	7,939	10.3%	5,492	495	9.0%	7.1%		441	
21	岐阜県	71,268	5,978	8.4%	5,399	289	5.4%	7.6%		697	
22	静岡県	132,664	14,486	10.9%	9,456	847	9.0%	7.1%		461	1
23	愛知県	263,708	20,385	7.7%	23,866	1,984	8.3%	9.1%		1,969	3
24	三重県	70,810	5,776	8.2%	4,615	342	7.4%	6.5%	1	350	
25	滋賀県	49,855	2,822	5.7%	4,383	240	5.5%	8.8%		183	2
26	京都府	109,845	5,778	5.3%	7,946	369	4.6%	7.2%	1	964	
27	大阪府	448,108	27,077	6.0%	41,355	2,838	6.9%	9.2%		2,171	
28	兵庫県	207,102	18,029	8.7%	15,994	1,270	7.9%	7.7%		1,055	
29	奈良県	55,187	5,565	10.1%	4,123	389	9.4%	7.5%		309	1
30	和歌山県	44,697	3,894	8.7%	3,078	147	4.8%	6.9%		232	
31	鳥取県	20,393	2,401	11.8%	1,380	198	14.3%	6.8%		181	
32	島根県	25,083	2,719	10.8%	1,393	101	7.3%	5.6%		161	
33	岡山県	70,544	8,310	11.8%	4,411	311	7.1%	6.3%		197	
34	広島県	105,381	13,351	12.7%	5,503	394	7.2%	5.2%	2	543	
35	山口県	58,872	7,497	12.7%	3,684	426	11.6%	6.3%		216	
36	徳島県	27,781	3,778	13.6%	1,798	190	10.6%	6.5%		225	1
37	香川県	40,225	5,282	13.1%	2,833	171	6.0%	7.0%		113	
38	愛媛県	54,811	6,528	11.9%	3,540	310	8.8%	6.5%		100	
39	高知県	34,141	4,271	12.5%	2,038	142	7.0%	6.0%		168	
40	福岡県	190,820	21,743	11.4%	14,933	1,764	11.8%	7.8%		785	
41	佐賀県	29,127	5,570	19.1%	2,233	294	13.2%	7.7%		165	
42	長崎県	49,240	6,797	13.8%	2,949	448	15.2%	6.0%		254	
43	熊本県	66,971	8,616	12.9%	4,683	306	6.5%	7.0%		262	2
44	大分県	42,923	8,607	20.1%	2,752	325	11.8%	6.4%		158	
45	宮崎県	35,005	6,044	17.3%	2,159	295	13.7%	6.2%		184	
46	鹿児島県	63,814	11,063	17.3%	3,625	439	12.1%	5.7%	1	202	
47	沖縄県	53,998	5,374	10.0%	5,032	409	8.1%	9.3%		75	2
	合計	4,918,479	454,477	9.2%	386,221	32,175	8.3%	7.9%	7	21,253	23

医療機関に受入の照会を行った回数ごとの件数(小児:その1)

	都道府県	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	北海道	9,166	695	156	44	13	3	2	1			1			
2	青森県	2,164	133	21	3	1									
3	岩手県	2,062	144	37	5	4	2								
4	宮城県	3,399	883	346	164	87	42	30	12	12	8	3	1	1	
5	秋田県	1,474	18	1											
6	山形県	1,799	36	9	1			1							
7	福島県	3,237	379	119	53	31	20	9	13	8	3	2			
8	茨城県	7,234	99	9									3		
9	栃木県	3,566	614	220	95	39	25	10	3	3		3			
10	群馬県	4,693	593	172	62	21	14	6	5	2					
11	埼玉県	16,986	3,294	1,279	567	277	128	89	52	25	18	4	7	4	1
12	千葉県	13,112	2,121	735	288	135	58	41	11	13	6	3	3	3	2
13	東京都	35,571	6,947	2,453	978	428	214	118	67	26	17	15	8	5	1
14	神奈川県	20,530	3,051	847	299	201	12	13	2	2	1	1		1	
15	新潟県	3,418	533	167	74	31	15	15	7	3	1	3		1	
16	富山県	1,480	117	8	2	1									
17	石川県	1,690	81	25	19	5	2	1							
18	福井県	1,173	31	4			1								
19	山梨県	2,002	109	31	14	3	4	1							
20	長野県	3,884	283	57	12	4	3		1						
21	岐阜県	3,965	292	76	15	4	2								
22	静岡県	7,315	436	105	32	12	4	4	2	1					
23	愛知県	18,113	683	181	51	13	4	1							
24	三重県	3,025	339	97	43	20	15	7	2	3	1				1
25	滋賀県	2,284	1,018	100	19	2									
26	京都府	5,464	727	183	82	21	1	1	1	1					
27	大阪府	27,145	4,644	1,773	804	411	200	125	79	52	41	21	16	13	10
28	兵庫県	8,749	1,380	432	187	101	49	27	8	7	7	5	4	1	
29	奈良県	2,737	499	203	82	51	26	25	12	7	2	1	1	1	1
30	和歌山県	2,233	239	69	23	6	5	2	2	1					
31	鳥取県	1,115	54	10	2	1									
32	島根県	483	32	6	1										
33	岡山県	3,118	404	108	31	11	6	2	1	1					
34	広島県	3,697	251	69	24	10	5	3							
35	山口県	2,792	298	52	13	4	3	2							
36	徳島県	1,256	111	37	9	5	2	1	1						
37	香川県	2,003	205	56	20	7	2		1						
38	愛媛県	2,636	150	32	14	8	2								
39	高知県	1,458	148	41	6	3	1								
40	福岡県	10,392	897	225	51	18	5	2	3	2	1				
41	佐賀県	1,547	226	87	43	15	5	5	1	4	2				
42	長崎県	1,666	227	64	23	10	3	3							
43	熊本県	2,162	110	40	8		1								
44	大分県	1,731	117	21	5	3	1								
45	宮崎県	1,301	168	57	19	11	4	1							
46	鹿児島県	2,369	365	116	43	18	12	5						1	
47	沖縄県	4,529	82	11	1										
	合計	263,925	34,263	10,947	4,331	2,046	901	552	287	173	108	62	43	31	16



医療機関に受入の照会を行った回数ごとの件数(小児:その2)

	都道府県	15	16	17	18	19	20	21 ~	計	4回 以上	6回 以上	11回 以上	最大 照会 回数	集計 不能 本部
1	北海道								10,081	64	7	1	11	9
2	青森県								2,322	4			5	
3	岩手県								2,254	11	2		6	1
4	宮城県	1			1				4,990	362	111	7	18	3
5	秋田県								1,493				3	2
6	山形県								1,846	2	1		7	
7	福島県								3,874	139	55	2	11	4
8	茨城県								7,345	3	3	3	12	
9	栃木県								4,578	178	44	3	11	
10	群馬県								5,568	110	27		9	1
11	埼玉県	4		2		2	1	3	22,743	1,184	340	28	26	1
12	千葉県		1						16,532	564	141	12	16	6
13	東京都	1	4	4	3	2	1	5	46,868	1,897	491	49	35	
14	神奈川県								24,960	532	32	2	13	
15	新潟県								4,268	150	45	4	13	1
16	富山県								1,608	3			5	3
17	石川県								1,823	27	3		7	2
18	福井県								1,209	1	1		6	2
19	山梨県								2,164	22	5		7	1
20	長野県								4,244	20	4		8	2
21	岐阜県								4,354	21	2		6	4
22	静岡県								7,911	55	11		9	3
23	愛知県								19,046	69	5		7	13
24	三重県								3,553	92	29	1	14	3
25	滋賀県								3,423	21			5	3
26	京都府								6,481	107	4		9	3
27	大阪府	7	7	3	1	3		6	35,361	1,799	584	87	25	6
28	兵庫県	1							10,958	397	109	11	15	11
29	奈良県	1	2			1		1	3,653	214	81	9	21	
30	和歌山県								2,580	39	10			1
31	鳥取県								1,182	3			5	
32	島根県								522	1			4	2
33	岡山県								3,682	52	10		9	3
34	広島県								4,059	42	8		7	5
35	山口県								3,164	22	5		7	1
36	徳島県								1,422	18	4		8	1
37	香川県								2,294	30	3		8	1
38	愛媛県								2,842	24	2		6	1
39	高知県								1,657	10	1		6	2
40	福岡県								11,596	82	13		10	6
41	佐賀県								1,935	75	17		10	
42	長崎県								1,996	39	6		7	1
43	熊本県								2,321	9	1		6	3
44	大分県								1,878	9	1		6	5
45	宮崎県								1,561	35	5		7	4
46	鹿児島県								2,929	79	18	1	13	3
47	沖縄県								4,623	1			4	
	合計	15	14	9	5	8	2	15	317,753	8,618	2,241	220		123

現場滞在時間区分ごとの件数(小児)

	都道府県	30分未満	30分以上	60分以上	90分以上	120分以上	150分以上	合計	集計不能本部
1	北海道	10,825	78	2				10,905	8
2	青森県	2,320	1			1		2,322	
3	岩手県	2,443	10					2,453	
4	宮城県	5,024	201	4				5,229	1
5	秋田県	1,590						1,590	
6	山形県	1,845	1					1,846	
7	福島県	4,710	37	1			1	4,749	
8	茨城県	7,234	99	9				7,342	1
9	栃木県	4,476	100				2	4,578	
10	群馬県	5,527	40	1				5,568	1
11	埼玉県	21,873	823	39	7	2		22,744	1
12	千葉県	17,457	470	19				17,946	5
13	東京都	45,442	1,365	49	8	5		46,869	
14	神奈川県	26,736	415	12				27,163	1
15	新潟県	3,887	108	5				4,000	2
16	富山県	2,026	2					2,028	
17	石川県	2,284	3					2,287	
18	福井県	1,310						1,310	1
19	山梨県	2,312	18	2		1		2,333	
20	長野県	4,750	22					4,772	1
21	岐阜県	4,720	12		1			4,733	3
22	静岡県	7,593	133					7,726	3
23	愛知県	21,433	81	1	1		1	21,517	1
24	三重県	3,910	24					3,934	3
25	滋賀県	3,318	12					3,330	2
26	京都府	6,383	21	1				6,405	3
27	大阪府	36,178	402	27	3		1	36,611	3
28	兵庫県	12,962	144	6				13,112	5
29	奈良県	3,552	75	1				3,628	1
30	和歌山県	2,921	8					2,929	1
31	鳥取県	1,179	3					1,182	
32	島根県	1,282	3					1,285	
33	岡山県	3,720	10	1				3,731	3
34	広島県	3,998	41	1	1			4,041	4
35	山口県	3,061	11	2		1		3,075	1
36	徳島県	1,608						1,608	
37	香川県	2,653	9					2,662	
38	愛媛県	3,241	7					3,248	
39	高知県	1,635	3					1,638	2
40	福岡県	12,485	29	2	1			12,517	3
41	佐賀県	1,676	11					1,687	1
42	長崎県	1,583	11	1				1,595	1
43	熊本県	3,447	2					3,449	3
44	大分県	2,415	7					2,422	
45	宮崎県	1,597	6	1				1,604	2
46	鹿児島県	2,977	18	3		1		2,999	4
47	沖縄県	4,615	7	1				4,623	
	合計	330,213	4,883	191	22	11	5	335,325	71

照会するも受入に至らなかった理由とその件数(小児:全事案)

	都道府県	手術中・患者対応中	ベット満床	処置困難	専門外	医師不在	初診 (かかりつけ 医なし)	理由不明 その他	合計	集計 不能 本部
1	北海道	213	65	210	187	231	16	299	1,221	9
2	青森県	13		34	33	24		44	148	1
3	岩手県	57	3	44	64	24		67	259	1
4	宮城県	455	112	542	617	268	1	897	2,892	
5	秋田県	1		2	14	2		1	20	2
6	山形県	12	11	11	15	2	1	9	61	1
7	福島県	85	21	396	388	160		137	1,187	6
8	茨城県	540	44	280	1,415	216		292	2,787	1
9	栃木県	205	62	170	572	233	4	517	1,763	
10	群馬県	132	49	130	309	181		174	975	3
11	埼玉県	1,639	311	1,888	4,510	1,014	12	1,482	10,856	1
12	千葉県	592	128	343	798	408	1	3,528	5,798	8
13	東京都	7,701	1,291	4,392	3,343	1,210	39	1,671	19,647	
14	神奈川県	1,992	332	877	1,333	960	1	1,030	6,525	8
15	新潟県	69	13	149	376	77	2	816	1,502	1
16	富山県	7	10	26	24	43		33	143	3
17	石川県	40	4	13	89	27		51	224	2
18	福井県	15	1	7	7	4		3	37	3
19	山梨県	7	4	17	79	14	2	57	180	3
20	長野県	51	14	143	95	89	1	78	471	2
21	岐阜県	84	11	21	128	54	2	202	502	6
22	静岡県	37	21	183	154	221		204	820	6
23	愛知県	117	122	249	207	243	2	256	1,196	16
24	三重県	23	25	61	129	72		197	507	6
25	滋賀県	66	9	46	65	19		24	229	4
26	京都府	453	63	38	416	32		467	1,469	
27	大阪府	764	187	738	1,292	619	12	1,753	5,365	15
28	兵庫県	687	93	604	1,152	301		998	3,835	11
29	奈良県	292	16	81	358	69	3	258	1,077	2
30	和歌山県	87	14	40	173	67		78	459	3
31	鳥取県	18	1	12	33	4		16	84	
32	島根県	3		12	9	1		17	42	2
33	岡山県	63	82	146	164	135		161	751	5
34	広島県	65	25	122	108	67		69	456	8
35	山口県	58	11	74	103	55		96	397	2
36	徳島県	25	14	24	63	64		64	254	2
37	香川県	33	11	45	121	123		89	422	
38	愛媛県	12	10	31	55	79	1	110	298	1
39	高知県	23	10	43	59	30		61	226	2
40	福岡県	239	104	137	381	445	16	264	1,586	9
41	佐賀県	110	21	77	173	143		177	701	
42	長崎県	42	6	97	112	75		165	497	1
43	熊本県	28	9	12	30	24		50	153	5
44	大分県	19	6	61	46	46	1	24	203	5
45	宮崎県	24	14	1		56		119	214	6
46	鹿児島県	21	8	43	80	104		152	408	6
47	沖縄県	3	8	4	6	8	2	32	63	1
	合計	17,222	3,376	12,676	19,885	8,343	119	17,289	78,910	179

照会するも受入に至らなかった理由とその件数(照会回数11回以上の事案)

	都道府県	手術中・患者対応中	ベット満床	処置困難	専門外	医師不在	初診 (かかりつけ 医なし)	理由不明 その他	合計
1	北海道		1		4	1		4	10
2	青森県								
3	岩手県								
4	宮城県	21	5	3	19	4		32	84
5	秋田県								
6	山形県								
7	福島県		2	17				1	20
8	茨城県			9	21	2		1	33
9	栃木県	2		18		9		1	30
10	群馬県								
11	埼玉県	40	4	113	166	33		30	386
12	千葉県	5	1	9	3	9		113	140
13	東京都	116	50	355	70	13	6	66	676
14	神奈川県	3		2	2			1	8
15	新潟県	1		4	19	12		6	42
16	富山県								
17	石川県								
18	福井県								
19	山梨県								
20	長野県								
21	岐阜県								
22	静岡県								
23	愛知県								
24	三重県	1			12				13
25	滋賀県								
26	京都府								
27	大阪府	26	4	37	81	34		305	487
28	兵庫県	10	3	45	46			16	120
29	奈良県	42		22	50	2		11	127
30	和歌山県								
31	鳥取県								
32	島根県								
33	岡山県								
34	広島県								
35	山口県								
36	徳島県								
37	香川県								
38	愛媛県								
39	高知県								
40	福岡県								
41	佐賀県								
42	長崎県								
43	熊本県								
44	大分県								
45	宮崎県								
46	鹿児島県							12	12
47	沖縄県								
	合計	267	70	634	493	119	6	599	2,188

## 救命救急センター搬送の状況(平成19年)

	都道府県	総搬送人員(a)	うち		救命救急センター等搬送人員(c)	うち		a/c	集計不能本部	施設数	照会数(e)	受入数(f)	f/e
			転院搬送(b)	b/a		転院搬送(d)	d/c						
1	北海道	210,813	27,771	13.2%	4,826	1,132	23.5%	2.3%	37	12	2,385	2,337	98.0%
2	青森県	39,225	5,803	14.8%					14	3			
3	岩手県	41,119	5,290	12.9%					12	3			
4	宮城県	79,831	12,752	16.0%	3,094	943	30.5%	3.9%	9	4	2,307	2,151	93.2%
5	秋田県	34,425	3,073	8.9%					13	5			
6	山形県	36,982	4,185	11.3%					15	3			
7	福島県	67,990	6,074	8.9%	574	6	1.0%	0.8%	9	4	566	554	97.9%
8	茨城県	100,721	8,705	8.6%	1,631	186	11.4%	1.6%	20	6	506	436	86.2%
9	栃木県	64,260	7,546	11.7%					13	5			
10	群馬県	71,466	6,915	9.7%					11	3			
11	埼玉県	247,225	19,173	7.8%	3,176	296	9.3%	1.3%	19	7	3,035	2,731	90.0%
12	千葉県	238,817	21,970	9.2%	1,207	216	17.9%	0.5%	29	16	280	195	69.6%
13	東京都	630,855	36,160	5.7%	25,162	1,997	7.9%	4.0%	0	26	34,651	23,925	69.0%
14	神奈川県	352,857	22,286	6.3%	26,075	3,222	12.4%	7.4%	3	13	10,524	9,007	85.6%
15	新潟県	79,829	9,076	11.4%	19,183	2,791	14.5%	24.0%	3	5	3,687	3,583	97.2%
16	富山県	32,955	3,438	10.4%	131	3	2.3%	0.4%	12	4			
17	石川県	33,962	3,171	9.3%					11	4			
18	福井県	23,523	2,642	11.2%					9	4			
19	山梨県	32,140	2,767	8.6%	769	112	14.6%	2.4%	2	2	497	490	98.6%
20	長野県	77,111	7,939	10.3%	79	40	50.6%	0.1%	12	8	38	38	100.0%
21	岐阜県	71,268	5,978	8.4%	486	52	10.7%	0.7%	19	6	352	343	97.4%
22	静岡県	132,664	14,486	10.9%	27,810	3,925	14.1%	21.0%	2	6	23,486	23,282	99.1%
23	愛知県	263,708	20,385	7.7%	19,028	2,049	10.8%	7.2%	23	15	13,300	13,086	98.4%
24	三重県	70,810	5,776	8.2%					15	3			
25	滋賀県	49,855	2,822	5.7%					8	5			
26	京都府	109,845	5,778	5.3%	72	17	23.6%	0.1%	13	6	54	54	100.0%
27	大阪府	448,108	27,077	6.0%	8,847	1,255	14.2%	2.0%	1	13	3,970	3,514	88.5%
28	兵庫県	207,102	18,029	8.7%	435	224	51.5%	0.2%	22	13	259	193	74.5%
29	奈良県	55,187	5,565	10.1%	1,148	308	26.8%	2.1%	1	3	1,099	820	74.6%
30	和歌山県	44,697	3,894	8.7%					17	3			
31	鳥取県	20,393	2,401	11.8%	419	42	10.0%	2.1%	2	2	407	377	92.6%
32	島根県	25,083	2,719	10.8%	1,273	686	53.9%	5.1%	3	4	2,400	2,399	100.0%
33	岡山県	70,544	8,310	11.8%					14	3			
34	広島県	105,381	13,351	12.7%	2,987	585	19.6%	2.8%	6	6	2,732	2,259	82.7%
35	山口県	58,872	7,497	12.7%	1,141	374	32.8%	1.9%	7	4	764	746	97.6%
36	徳島県	27,781	3,778	13.6%					12	4			
37	香川県	40,225	5,282	13.1%	7	7	100.0%	0.0%	8	2			
38	愛媛県	54,811	6,528	11.9%	2,391	1,186	49.6%	4.4%	1	4	994	994	100.0%
39	高知県	34,141	4,271	12.5%					15	4			
40	福岡県	190,820	21,743	11.4%	5,278	1,719	32.6%	2.8%	7	8	2,312	2,284	98.8%
41	佐賀県	29,127	5,570	19.1%					7	2			
42	長崎県	49,240	6,797	13.8%	262	200	76.3%	0.5%	6	2	178	168	94.4%
43	熊本県	66,971	8,616	12.9%					13	3			
44	大分県	42,923	8,607	20.1%					14	1			
45	宮崎県	35,005	6,044	17.3%					9	3			
46	鹿児島県	63,814	11,063	17.3%	389	265	68.1%	0.6%	11	1	66	65	98.5%
47	沖縄県	53,998	5,374	10.0%					18	4			
	合計	4,918,479	454,477	9.2%	157,880	23,838	15.1%	3.2%	527	267	110,849	96,031	86.6%

医療機関に受入の照会を行った回数ごとの件数(救命救急センター:その1)

	都道府県	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11~	計
1	北海道	3,367	197	55	18	7	6	2	1		1	3	3,657
2	青森県												
3	岩手県												
4	宮城県	1,532	299	153	67	44	24	17	5	1	2	7	2,151
5	秋田県												
6	山形県												
7	福島県	463	28	12	5			1		1			510
8	茨城県	710	159	91	36	24	17	7	3	2	1	2	1,052
9	栃木県												
10	群馬県												
11	埼玉県	1,672	336	209	120	67	45	54	19	23	16	49	2,610
12	千葉県	624	118	65	26	10	3		1				847
13	東京都	14,484	4,442	1,809	901	467	281	188	122	84	57	330	23,165
14	神奈川県	16,586	1,763	719	375	344	110	77	53	34	18	73	20,152
15	新潟県	11,331	1,122	552	299	186	88	42	19	15	10	8	13,672
16	富山県												
17	石川県												
18	福井県												
19	山梨県	626	19	5	1		2	2		1		1	657
20	長野県	33	2		2	2							39
21	岐阜県	254	32	8	3	2			1				300
22	静岡県	21,931	1,024	252	92	42	18	7	2				23,368
23	愛知県	11,894	1,046	240	112	22	9	4					13,327
24	三重県												
25	滋賀県												
26	京都府												
27	大阪府	4,457	995	496	319	214	144	94	92	61	76	292	7,240
28	兵庫県	95	24	20	13	10	7	4	4	2		10	189
29	奈良県	391	135	88	67	46	27	26	13	13	12	22	840
30	和歌山県												
31	鳥取県												
32	島根県	456	87	36	5								584
33	岡山県												
34	広島県	2,273	172	67	40	9	10	2	5	2		5	2,585
35	山口県	568	98	42	15	14	6	3	1				747
36	徳島県												
37	香川県												
38	愛媛県	1,196	8										1,204
39	高知県												
40	福岡県	2,290	152	58	28	10	3	1					2,542
41	佐賀県												
42	長崎県	54	5	1	1	1							62
43	熊本県												
44	大分県												
45	宮崎県												
46	鹿児島県	36	6	11	9	5		4					71
47	沖縄県												
	合計	97,323	12,269	4,989	2,554	1,526	800	535	341	239	193	802	121,571

医療機関に受入の照会を行った回数ごとの件数(救命救急センター:その2)

	都道府県	4回以上	6回以上	11回以上	最大照会回数	集計不能本部
1	北海道	38	13	3	11	38
2	青森県					14
3	岩手県					12
4	宮城県	167	56	7	13	9
5	秋田県					13
6	山形県					15
7	福島県	7	2		9	9
8	茨城県	92	32	2	13	22
9	栃木県					13
10	群馬県					11
11	埼玉県	393	206	49	33	21
12	千葉県	40	4		15	30
13	東京都	2,430	1,062	330	47	0
14	神奈川県	1,084	365	73	20	6
15	新潟県	667	182	8	13	4
16	富山県					13
17	石川県					11
18	福井県					9
19	山梨県	7	6	1	22	2
20	長野県	4			5	12
21	岐阜県	6	1		8	20
22	静岡県	161	27		8	7
23	愛知県	147	13		7	26
24	三重県					15
25	滋賀県					8
26	京都府					15
27	大阪府	1,292	759	292	63	1
28	兵庫県	50	27	10	21	22
29	奈良県	226	113	22	27	1
30	和歌山県					17
31	鳥取県					3
32	島根県	5			4	3
33	岡山県					14
34	広島県	73	24	5	16	6
35	山口県	39	10		8	7
36	徳島県					12
37	香川県					8
38	愛媛県				2	1
39	高知県					15
40	福岡県	42	4		7	13
41	佐賀県					7
42	長崎県	2			5	6
43	熊本県					13
44	大分県					14
45	宮崎県					9
46	鹿児島県	18	4		7	14
47	沖縄県					18
	合計	6,990	2,910	802		559

## 現場滞在時間区分ごとの件数(救命救急センター)

	都道府県	30分未満	30分以上	60分以上	90分以上	120分以上	150分以上	合計	集計不能本部
1	北海道	3,594	89	7	2		2	3,694	37
2	青森県								14
3	岩手県								12
4	宮城県	2,036	96	15	2	2		2,151	9
5	秋田県								13
6	山形県								15
7	福島県	538	5		1			544	9
8	茨城県	123	12	1	1			137	22
9	栃木県								13
10	群馬県								11
11	埼玉県	2,153	379	60	11	5	2	2,610	21
12	千葉県	902	87	2				991	29
13	東京都	20,781	2,081	228	47	16	12	23,165	0
14	神奈川県	20,654	1,796	194	41	9	7	22,701	4
15	新潟県	12,551	865	59	4	2		13,481	5
16	富山県	127	1					128	12
17	石川県								11
18	福井県								9
19	山梨県	566	17	2				585	2
20	長野県	38	1					39	12
21	岐阜県	295	5					300	20
22	静岡県	17,382	271	18	3	2		17,676	5
23	愛知県	6,738	50	5	1	2		6,796	23
24	三重県								15
25	滋賀県								8
26	京都府								15
27	大阪府	6,475	636	96	28	3	4	7,242	1
28	兵庫県	189	28	2	2			221	23
29	奈良県	633	127	19	3		1	783	2
30	和歌山県								17
31	鳥取県								3
32	島根県	447	5	1				453	3
33	岡山県								14
34	広島県	2,368	197	18			2	2,585	6
35	山口県	558	19	2				579	7
36	徳島県								12
37	香川県								8
38	愛媛県	1,176	22	3	3			1,204	1
39	高知県								15
40	福岡県	2,832	34	7	1	1	1	2,876	10
41	佐賀県								7
42	長崎県	53	7	2				62	6
43	熊本県								13
44	大分県								14
45	宮崎県								9
46	鹿児島県	55	4					59	15
47	沖縄県								18
	合計	103,264	6,834	741	150	42	31	111,062	550



照会するも受入に至らなかった理由とその件数(救命救急センター:全事案)

	都道府県	手術中・患者対応中	ベット満床	処置困難	専門外	医師不在	初診 (かかりつけ医なし)	理由不明 その他	合計	集計 不能 本部
1	北海道	56	77	180	34	24	2	103	476	38
2	青森県									14
3	岩手県									12
4	宮城県	16	52	287	166	55	5	655	1,236	9
5	秋田県									13
6	山形県									15
7	福島県	5	7	52	1	11		5	81	9
8	茨城県	208	65	148	176	20		120	737	23
9	栃木県									13
10	群馬県									11
11	埼玉県	447	511	719	753	50	7	410	2,897	21
12	千葉県	69	52	41		70		159	391	30
13	東京都	6,295	6,255	6,484	526	151	29	2,246	21,986	0
14	神奈川県	1,769	1,613	1,570	849	240	2	738	6,781	11
15	新潟県	175	277	516	670	125	10	3,212	4,985	4
16	富山県									13
17	石川県									11
18	福井県									9
19	山梨県	7	1	13	6			20	47	2
20	長野県	1	1	4	6	1	1	2	16	12
21	岐阜県	8	5	6	14	13		26	72	20
22	静岡県	107	167	616	304	431	1	490	2,116	9
23	愛知県	113	235	374	202	221		184	1,329	30
24	三重県									15
25	滋賀県									8
26	京都府									15
27	大阪府	393	541	588	409	75	1	966	2,973	1
28	兵庫県	89	58	70	55	10		53	335	23
29	奈良県	428	132	161	260	33	1	402	1,417	3
30	和歌山県									17
31	鳥取県									3
32	島根県	1	15	79	35	6		38	174	3
33	岡山県									14
34	広島県	186	235	84	6	5		133	649	7
35	山口県	41	13	76	47				177	7
36	徳島県									12
37	香川県									8
38	愛媛県	2	2			1		3	8	1
39	高知県									15
40	福岡県	31	37	98	56	54		48	324	16
41	佐賀県									7
42	長崎県	1		3	1	2		7	14	6
43	熊本県									13
44	大分県									14
45	宮崎県									9
46	鹿児島県	12	11	18	12	2		15	70	16
47	沖縄県									18
	合計	10,460	10,362	12,187	4,588	1,600	59	10,035	49,291	580

照会するも受入に至らなかった理由とその件数(救命救急センター:照会回数11回以上の事案)

	都道府県	手術中・患者対応中	ベット満床	処置困難	専門外	医師不在	初診 (かかりつけ医なし)	理由不明 その他	合計
1	北海道	2	3	6	7	2		10	30
2	青森県								
3	岩手県								
4	宮城県		7	15	23	4		29	78
5	秋田県								
6	山形県								
7	福島県								
8	茨城県	8	2	5	4			3	22
9	栃木県								
10	群馬県								
11	埼玉県	79	165	223	205	15		131	818
12	千葉県	33	17	27	41	3		21	142
13	東京都	935	1,050	2,495	206	50	10	403	5,149
14	神奈川県	24	17	13	31	3		25	113
15	新潟県	8	6	18	30	4	1	16	83
16	富山県								
17	石川県								
18	福井県								
19	山梨県		1	13	6			2	22
20	長野県								
21	岐阜県								
22	静岡県								
23	愛知県								
24	三重県								
25	滋賀県								
26	京都府								
27	大阪府	80	178	253	222	8	1	804	1,546
28	兵庫県	29	28	39	22	9		6	133
29	奈良県	113	22	13	68	4		88	308
30	和歌山県								
31	鳥取県								
32	島根県								
33	岡山県								
34	広島県	6	11	10	10	2		18	57
35	山口県								
36	徳島県								
37	香川県								
38	愛媛県								
39	高知県								
40	福岡県								
41	佐賀県								
42	長崎県			1	2			7	10
43	熊本県								
44	大分県								
45	宮崎県								
46	鹿児島県								
47	沖縄県								
	合計	1,317	1,507	3,131	877	104	12	1,563	8,511

平成20年3月11日  
消 防 庁

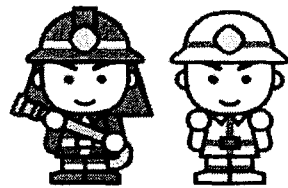
救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査の結果について

(追加資料)

救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査の結果について、(1) (2) (3) について、別添のとおり追加資料を配付します。

【追加資料 (別添)】

- (1) 調査対象人員及び照会回数多数事案の件数 (重複を除く)
- (2) 照会回数4回以上の比率
- (3) 現場滞在時間最長事案



消太

(連絡先)

総務省消防庁救急企画室

Tel : 03-5253-5111 (内 7976)

Tel : 03-5253-7529

担当 : 松野、小坂橋、小浜

[s.kohama@soumu.go.jp](mailto:s.kohama@soumu.go.jp)

【調査対象人員】

重症以上傷病者搬送人員	530,671 人
産科・周産期傷病者搬送人員	46,978 人
小児傷病者搬送人員	386,221 人
以上合計	963,870 人・・・①

重複部分

産科・周産期傷病者で重症以上	705 人
小児傷病者で重症以上	10,046 人
以上合計	10,751 人・・・②

$$\text{①} - \text{②} = 953,119 \text{ 人}$$

【照会回数4回以上の事案の重複除きの件数】

(4回以上)

重症以上	14,387 件
産科・周産期(中等症・軽症)	1,046 件
小児(中等症・軽症)	8,464 件
以上合計	23,897 件

(6回以上)

重症以上	5,398 件
産科・周産期(中等症・軽症)	341 件
小児(中等症・軽症)	2,200 件
以上合計	7,939 件

(11回以上)

重症以上	1,074 件
産科・周産期(中等症・軽症)	43 件
小児(中等症・軽症)	212 件
以上合計	1,329 件

医療機関に受入の照会を行った回数ごとの件数(重症以上:その2)

	都道府県	14	15	16	17	18	19	20	21~	計	4回 以上	構成 比	6回 以上	11回 以上	最大 照会 回数	集計 不能 本部
1	北海道									15,451	79	0.5%	21		8	9
2	青森県									6,717	17	0.3%	3		7	
3	岩手県									5,901	27	0.5%	5		8	1
4	宮城県	3	2	2	3	1	1	2	2	8,235	509	6.2%	192	26	22	3
5	秋田県									6,190	1	0.0%			4	3
6	山形県									5,113	14	0.3%	2		7	
7	福島県		1	1				1		6,288	242	3.8%	88	7	20	4
8	茨城県	1	2	1						9,040	459	5.1%	151	14	16	1
9	栃木県		3	1			1			6,397	281	4.4%	77	11	19	
10	群馬県	1	1			1				7,464	254	3.4%	68	10	18	
11	埼玉県	8	12	10	3	5		2	12	21,376	1,661	7.8%	686	129	35	
12	千葉県	7	8	5	1	3	2		3	15,521	979	6.3%	400	66	33	5
13	東京都	60	39	35	32	17	18	16	94	42,735	4,769	11.2%	2,300	614	50	
14	神奈川県	5	3	2		2	1	2	1	23,700	1,358	5.7%	245	32	29	6
15	新潟県	1	1							8,248	170	2.1%	58	6	15	2
16	富山県									2,697	5	0.2%			5	3
17	石川県									3,928	10	0.3%	1		6	2
18	福井県									1,982		0.0%			3	3
19	山梨県								1	2,526	39	1.5%	14	2	22	1
20	長野県									7,217	24	0.3%	1		9	2
21	岐阜県									6,313	20	0.3%	2		6	5
22	静岡県									8,790	42	0.5%	3		7	4
23	愛知県									16,772	59	0.4%	10	1	11	13
24	三重県		1							5,713	121	2.1%	56	5	15	3
25	滋賀県									2,656	23	0.9%	3		8	3
26	京都府	1								6,993	171	2.4%	39	1	14	3
27	大阪府	9	7	6	1	1	3	1	6	9,682	975	10.1%	373	71	40	6
28	兵庫県	4	3	3	1				1	11,254	641	5.7%	205	28	21	10
29	奈良県	3	3		3	1	3		3	4,134	527	12.7%	229	41	25	1
30	和歌山県									3,620	75	2.1%	15	1	11	1
31	鳥取県									2,187	11	0.5%	3		6	
32	島根県									1,967		0.0%			3	2
33	岡山県									7,715	145	1.9%	30		9	3
34	広島県									8,303	110	1.3%	33	4	12	4
35	山口県									4,907	37	0.8%	3		8	1
36	徳島県									2,822	30	1.1%	5		7	1
37	香川県									3,288	15	0.5%	2	1	12	1
38	愛媛県									7,619	30	0.4%	6		7	1
39	高知県									4,091	15	0.4%			5	2
40	福岡県									12,233	76	0.6%	11		7	6
41	佐賀県									3,467	97	2.8%	24		10	
42	長崎県									4,959	52	1.0%	4		9	2
43	熊本県									3,233	13	0.4%	1		6	4
44	大分県									4,125	30	0.7%	1		6	5
45	宮崎県	1								3,526	67	1.9%	12	1	14	4
46	鹿児島県		1							6,137	98	1.6%	16	3	15	3
47	沖縄県									4,994	9	0.2%			5	1
	合計	104	87	66	44	31	29	24	123	368,226	14,387	3.9%	5,398	1,074		134

医療機関に受入の照会を行った回数ごとの件数(産科・周産期:その2)

	都道府県	16	17	18	19	20	21~	計	4回 以上	構成比	6回 以上	11回 以上	最大照 会回数	集計不 能本部
1	北海道							1,008	22	2.2%	7	1	15	7
2	青森県							77		0.0%			3	
3	岩手県							97	1	1.0%			4	1
4	宮城県							248	15	6.0%	4	1	13	3
5	秋田県							73		0.0%			2	1
6	山形県							165	2	1.2%			4	
7	福島県							148	4	2.7%	1		9	4
8	茨城県							545	35	6.4%	17	1	14	
9	栃木県							273	12	4.4%	2		6	
10	群馬県							355	4	1.1%			4	1
11	埼玉県							1,906	84	4.4%	23	2	15	1
12	千葉県				1		1	915	58	6.3%	24	3	43	5
13	東京都	1	3	2	5		1	2,251	230	10.2%	112	31	28	1
14	神奈川県					1	2	2,031	187	9.2%	30	6	30	6
15	新潟県							353	5	1.4%	2		10	1
16	富山県							124		0.0%			3	3
17	石川県							79	3	3.8%	1		6	1
18	福井県							60		0.0%			2	1
19	山梨県							149	1	0.7%			4	1
20	長野県							232	1	0.4%			5	1
21	岐阜県							275	5	1.8%	1		8	4
22	静岡県							524	4	0.8%	1		8	4
23	愛知県							947	3	0.3%			5	12
24	三重県							165	2	1.2%	1		6	4
25	滋賀県							156	5	3.2%			5	3
26	京都府							295	3	1.0%			5	3
27	大阪府	1						3,838	288	7.5%	113	6	16	6
28	兵庫県							1,134	39	3.4%	6	1	13	11
29	奈良県							385	19	4.9%	5	1	12	
30	和歌山県							125	3	2.4%	2		8	1
31	鳥取県							74		0.0%			2	
32	島根県							27		0.0%			2	2
33	岡山県							286	4	1.4%			4	3
34	広島県							321	3	0.9%	1		6	3
35	山口県							169	2	1.2%			5	
36	徳島県							139		0.0%			3	1
37	香川県							130	1	0.8%	1		6	1
38	愛媛県							214	1	0.5%			4	1
39	高知県							88	1	1.1%			4	2
40	福岡県							703	21	3.0%	5		9	6
41	佐賀県							107	2	1.9%	1		8	
42	長崎県							206	4	1.9%			5	
43	熊本県							137		0.0%			2	3
44	大分県							179	1	0.6%			4	3
45	宮崎県							127	2	1.6%			4	3
46	鹿児島県							346	6	1.7%	3		7	4
47	沖縄県							342	1	0.3%			4	
	合計	2	3	2	6	1	4	22,528	1,084	4.8%	363	53		118

医療機関に受入の照会を行った回数ごとの件数(小児:その2)

	都道府県	15	16	17	18	19	20	21 ~	計	4回 以上	構成 比	6回 以上	11回 以上	最大 照会 回数	集計 不能 本部
1	北海道								10,081	64	0.6%	7	1	11	9
2	青森県								2,322	4	0.2%			5	
3	岩手県								2,254	11	0.5%	2		6	1
4	宮城県	1			1				4,990	362	7.3%	111	7	18	3
5	秋田県								1,493		0.0%			3	2
6	山形県								1,846	2	0.1%	1		7	
7	福島県								3,874	139	3.6%	55	2	11	4
8	茨城県								7,345	3	0.0%	3	3	12	
9	栃木県								4,578	178	3.9%	44	3	11	
10	群馬県								5,568	110	2.0%	27		9	1
11	埼玉県	4		2		2	1	3	22,743	1,184	5.2%	340	28	26	1
12	千葉県		1						16,532	564	3.4%	141	12	16	6
13	東京都	1	4	4	3	2	1	5	46,868	1,897	4.0%	491	49	35	
14	神奈川県								24,960	532	2.1%	32	2	13	
15	新潟県								4,268	150	3.5%	45	4	13	1
16	富山県								1,608	3	0.2%			5	3
17	石川県								1,823	27	1.5%	3		7	2
18	福井県								1,209	1	0.1%	1		6	2
19	山梨県								2,164	22	1.0%	5		7	1
20	長野県								4,244	20	0.5%	4		8	2
21	岐阜県								4,354	21	0.5%	2		6	4
22	静岡県								7,911	55	0.7%	11		9	3
23	愛知県								19,046	69	0.4%	5		7	13
24	三重県								3,553	92	2.6%	29	1	14	3
25	滋賀県								3,423	21	0.6%			5	3
26	京都府								6,481	107	1.7%	4		9	3
27	大阪府	7	7	3	1	3		6	35,361	1,799	5.1%	584	87	25	6
28	兵庫県	1							10,958	397	3.6%	109	11	15	11
29	奈良県	1	2			1		1	3,653	214	5.9%	81	9	21	
30	和歌山県								2,580	39	1.5%	10			1
31	鳥取県								1,182	3	0.3%			5	
32	島根県								522	1	0.2%			4	2
33	岡山県								3,682	52	1.4%	10		9	3
34	広島県								4,059	42	1.0%	8		7	5
35	山口県								3,164	22	0.7%	5		7	1
36	徳島県								1,422	18	1.3%	4		8	1
37	香川県								2,294	30	1.3%	3		8	1
38	愛媛県								2,842	24	0.8%	2		6	1
39	高知県								1,657	10	0.6%	1		6	2
40	福岡県								11,596	82	0.7%	13		10	6
41	佐賀県								1,935	375	3.9%	17		10	
42	長崎県								1,996	39	2.0%	6		7	1
43	熊本県								2,321	9	0.4%	1		6	3
44	大分県								1,878	9	0.5%	1		6	5
45	宮崎県								1,561	35	2.2%	5		7	4
46	鹿児島県								2,929	79	2.7%	18	1	13	3
47	沖縄県								4,623	1	0.0%			4	
	合計	15	14	9	5	8	2	15	317,753	8,618	2.7%	2,241	220		123

各搬送事案における現場滞在時間最長事案の状況

○重症以上傷病者

都道府県名	消防本部名	受入照会回数	現場滞在時間(分)	受入に至らなかった理由とその件数							傷病種別等		
				手術中、患者対応中	ベット満床	処置困難	専門外	医師不在	初診(かかりつけ医なし)	理由不明その他	傷病種別	平日・休日別	時間帯
千葉県	松戸市消防局	32	325	6	1	2		22			その他	休日	18~20時

○産科・周産期傷病者

都道府県名	消防本部名	受入照会回数	現場滞在時間(分)	受入に至らなかった理由とその件数							傷病種別等			
				手術中、患者対応中	ベット満床	処置困難	専門外	医師不在	初診(かかりつけ医なし)	理由不明その他	傷病種別	傷病程度	平日・休日別	時間帯
神奈川県	横浜市安全管理局	20	230		4		1			14	その他	重症以上	休日	6~8時

○小児傷病者

都道府県名	消防本部名	受入照会回数	現場滞在時間(分)	受入に至らなかった理由とその件数							傷病種別等			
				手術中、患者対応中	ベット満床	処置困難	専門外	医師不在	初診(かかりつけ医なし)	理由不明その他	傷病種別	傷病程度	平日・休日別	時間帯
東京都	東京消防庁	29	142	2	1	1			5	19	呼吸器系	軽症その他	平日	10時~12時

○救命センター搬送傷病者

都道府県名	消防本部名	受入照会回数	現場滞在時間(分)	受入に至らなかった理由とその件数							傷病種別等			
				手術中、患者対応中	ベット満床	処置困難	専門外	医師不在	初診(かかりつけ医なし)	理由不明その他	傷病種別	傷病程度	平日・休日別	時間帯
東京都	東京消防庁	47	279	3	16	10	2	1	5	9	一般負傷	中等症	平日	14~16時



各照会数最大事案

	最大照会回数	都道府県名	消防本部名
重症以上傷病者	50回	東京都	東京消防庁
産科・周産期傷病者	43回	千葉県	柏市消防本部
小児傷病者	35回	東京都	東京消防庁
救命センター搬送傷病者	63回	大阪府	大阪市消防局

【重症以上傷病者】

受入照会回数	現場滞在時間(分)	受入に至らなかった理由とその件数							傷病種別等		
		手術中、患者対応中	ベット満床	処置困難	専門外	医師不在	初診(かかりつけ医なし)	理由不明その他	傷病種別	平日・休日別	時間帯
50	253	5	8	10	0	0	0	26	呼吸器系	平日	20時～22時

平成19年3月の平日の夜間(通常診療時間帯以外)の救急要請事案。循環器・呼吸器疾患等の既往のある70歳の女性が、自宅で呼吸苦を訴えたもの。救急要請当日に医療機関を自己退院している。救急隊が39回、警防本部が11回照会(総照会回数=50回)を実施し、二次救急医療機関(設立主体=私的)に収容した。初診時傷病名「肺炎」初診時程度「重症」

【産科・周産期傷病者】

受入照会回数	現場滞在時間(分)	受入に至らなかった理由とその件数							傷病種別等			
		手術中、患者対応中	ベット満床	処置困難	専門外	医師不在	初診(かかりつけ医なし)	理由不明その他	傷病種別	傷病程度	平日・休日別	時間帯
43	137	1		1		8	27	5	その他	中等症	平日	2～4時

1時09分覚知 妊娠41週、陣痛の痛みが激しくなり救急要請があったもの。  
20歳代女性 中等症 妊娠41週とびこみ分娩 既往・かかりつけ無 県外の二次医療機関へ搬送

【小児傷病者】

受入照会回数	現場滞在時間(分)	受入に至らなかった理由とその件数							傷病種別等			
		手術中、患者対応中	ベット満床	処置困難	専門外	医師不在	初診(かかりつけ医なし)	理由不明その他	傷病種別	傷病程度	平日・休日別	時間帯
35	59	0	1	33	0	0	0	0	一般負傷	中等症	休日	14時～16時

平成19年5月の休日の昼間時間帯の救急要請事案。幼児(男)が、公園内の遊具から墜落し、上肢を骨折(開放性骨折)したもの。

救急隊で22回、警防本部で13回照会するも、処置困難を多数理由としていずれも受入できないとの回答。最終的に二次救急医療機関(設立主体=私的)に収容した。初診時傷病名「左手関節開放骨折」初診時程度「中等症」

【救命救急センター等】

受入照会回数	現場滞在時間(分)	受入に至らなかった理由とその件数							傷病種別等			
		手術中、患者対応中	ベット満床	処置困難	専門外	医師不在	初診(かかりつけ医なし)	理由不明その他	傷病種別	傷病程度	平日・休日別	時間帯
63	112								消化器系	中等症	平日	0～2時

(覚知日時) 1月 (水)0時29分

(事故概要) 男性が吐血と倦怠感を訴える救急事案。

到着時、吐血は治まっておらず、アルコール臭あり。市内外救急病院及び救命救急センターへ計63回の搬送連絡を行い、結果、府内の救命救急センターへ搬送。

(搬送時傷病程度) 中等症

(医師初診時傷病名) 胃潰瘍

(性別、年齢) 男性、30歳代

(既往症) 不明

(かかりつけ医療機関の有無) 不明

(最終搬送先医療機関) 公的 救命救急センター

救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査結果について  
(救命救急センター等搬送事案に関する補足説明)

- 1 標記調査においては、救命救急センター等搬送事案を他の事案と明確に区分している 280 消防本部における、最終的に救命救急センター等に搬送された傷病者について、医療機関に照会するも受入に至らなかった理由 49,291 件の内訳を示したところであるが、この中には、2 次以下の救急医療機関における理由も含まれているため、「2 次以下救急医療機関」と「3 次救急医療機関(救命救急センター等)」に区分した理由の分析を試みた。
- 2 その方法として、今回の調査において「救命救急センター等搬送事案」について、救命救急センター等のみに係る照会数、受入数を別途報告することとなっているところ、上記 280 本部が所在する 24 都道府県のうち 7 都県において、救命救急センター等に受入照会をした件数と救命救急センター等の実際の受入数が概ね合致したので、当該 7 都県における理由を 2 次以下救急医療機関と 3 次救急医療機関に区別して集計した(結果は別表のとおり)。
- 3 これによると、7 都県における照会するも受入に至らなかった理由の合計件数は 30,537 件であり、その内訳は、2 次以下救急医療機関が 18,215 件、3 次救急医療機関が 12,322 件となっている。

受入に至らなかった理由ごとの内訳は、2 次以下救急医療機関において、「処置困難」が 39.0%、「手術中・患者対応中」が 16.2%、「ベッド満床」が 15.6%、「専門外」が 10.3%となっているのに対し、3 次救急医療機関においては、「ベッド満床」が 37.8%、「手術中・患者対応中」が 34.5%、「処置困難」が 12.7%となっている。
- 4 3 の結果から、2 次以下救急医療機関において受入ができなかった多数の事案について 3 次救急医療機関に受入要請がなされ、3 次救急医療機関が「ベッド満床」、「手術中・患者対応中」を主な理由として受入できないと回答している実態が見てとれる。

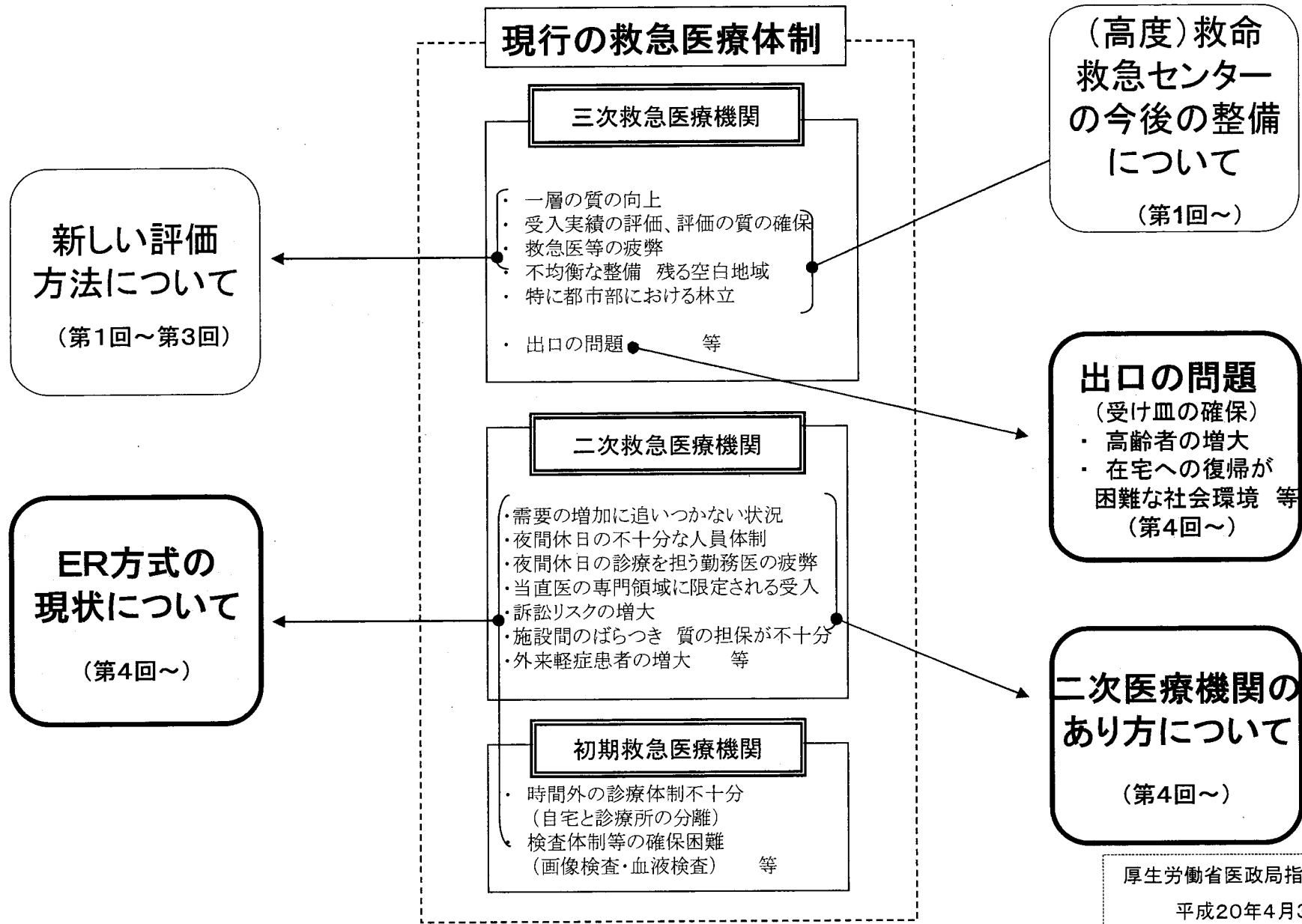
今後、選定困難事案の背景を把握するため、2 次以下医療機関において最大の理由となっている「処置困難」の内容について地域において更に分析を進める等の取組みが必要であると思われる。

## 別表

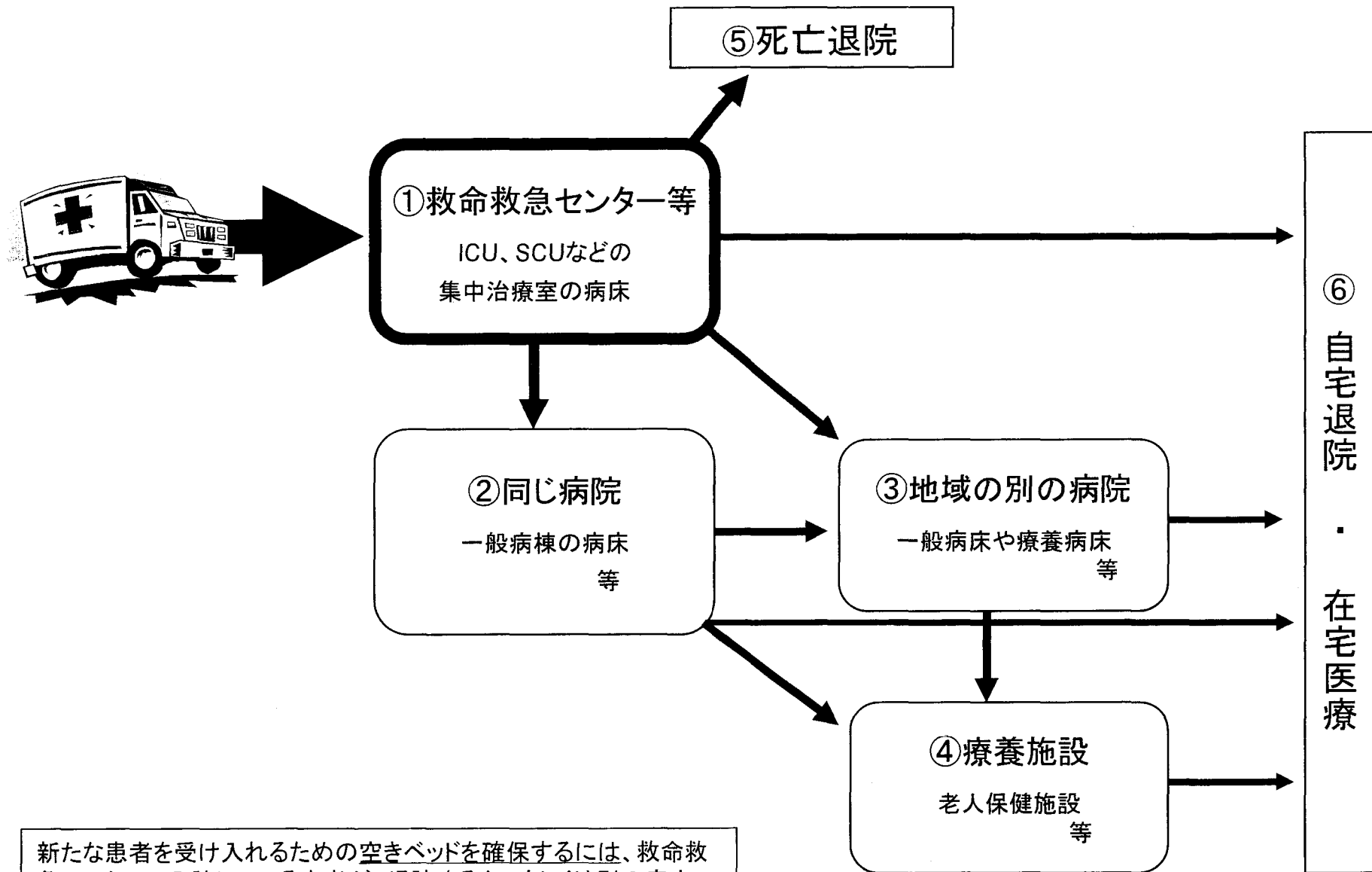
## 照会するも受入に至らなかった理由とその件数

	病院区分等		手術中・患者 対応中	ベット満床	処置困難	専門外	医師不在	初診(かかり つけ医なし)	理由不明及 びその他	合計
宮城県	2次以下	件数	13	45	287	164	55	5	511	1,080
		割合	1.2%	4.2%	26.6%	15.2%	5.1%	0.5%	47.3%	100%
	3次	件数	3	7	0	2	0	0	144	156
		割合	1.9%	4.5%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	92.3%	100%
合計	件数	16	52	287	166	55	5	655	1,236	
	割合	1.3%	4.2%	23.2%	13.4%	4.4%	0.4%	53.0%	100%	
埼玉県	2次以下	件数	286	421	682	710	48	6	255	2,408
		割合	11.9%	17.5%	28.3%	29.5%	2.0%	0.2%	10.6%	100%
	3次	件数	161	90	37	43	2	1	155	489
		割合	32.9%	18.4%	7.6%	8.8%	0.4%	0.2%	31.7%	100%
合計	件数	447	511	719	753	50	7	410	2,897	
	割合	15.4%	17.6%	24.8%	26.0%	1.7%	0.2%	14.2%	100%	
東京都	2次以下	件数	2,436	2,016	5,077	470	107	29	1,093	11,228
		割合	21.7%	18.0%	45.2%	4.2%	1.0%	0.3%	9.7%	100%
	3次	件数	3,859	4,239	1,407	56	44	0	1,153	10,758
		割合	35.9%	39.4%	13.1%	0.5%	0.4%	0.0%	10.7%	100%
合計	件数	6,295	6,255	6,484	526	151	29	2,246	21,986	
	割合	28.6%	28.4%	29.5%	2.4%	0.7%	0.1%	10.2%	100%	
静岡県	2次以下	件数	90	144	580	293	404	1	400	1,912
		割合	4.7%	7.5%	30.3%	15.3%	21.1%	0.1%	20.9%	100%
	3次	件数	17	23	36	11	27	0	90	204
		割合	8.3%	11.3%	17.6%	5.4%	13.2%	0.0%	44.1%	100%
合計	件数	107	167	616	304	431	1	490	2,116	
	割合	5.1%	7.9%	29.1%	14.4%	20.4%	0.0%	23.2%	100%	
愛知県	2次以下	件数	55	169	362	174	214	0	141	1,115
		割合	4.9%	15.2%	32.5%	15.6%	19.2%	0.0%	12.6%	100%
	3次	件数	58	66	12	28	7	0	43	214
		割合	27.1%	30.8%	5.6%	13.1%	3.3%	0.0%	20.1%	100%
合計	件数	113	235	374	202	221	0	184	1,329	
	割合	8.5%	17.7%	28.1%	15.2%	16.6%	0.0%	13.8%	100%	
広島県	2次以下	件数	41	5	17	1	5	0	107	176
		割合	23.3%	2.8%	9.7%	0.6%	2.8%	0.0%	60.8%	100%
	3次	件数	145	230	67	5	0	0	26	473
		割合	30.7%	48.6%	14.2%	1.1%	0.0%	0.0%	5.5%	100%
合計	件数	186	235	84	6	5		133	649	
	割合	28.7%	36.2%	12.9%	0.9%	0.8%	0.0%	20.5%	100%	
福岡県	2次以下	件数	26	35	93	56	53	0	33	296
		割合	8.8%	11.8%	31.4%	18.9%	17.9%	0.0%	11.1%	100%
	3次	件数	5	2	5	0	1	0	15	28
		割合	17.9%	7.1%	17.9%	0.0%	3.6%	0.0%	53.6%	100%
合計	件数	31	37	98	56	54	0	48	324	
	割合	9.6%	11.4%	30.2%	17.3%	16.7%	0.0%	14.8%	100%	
7 団体 合計	2次以下	件数	2,947	2,835	7,098	1,868	886	41	2,540	18,215
		割合	16.2%	15.6%	39.0%	10.3%	4.9%	0.2%	13.9%	100%
	3次	件数	4,248	4,657	1,564	145	81	1	1,626	12,322
		割合	34.5%	37.8%	12.7%	1.2%	0.7%	0.0%	13.2%	100%
合計	件数	7,195	7,492	8,662	2,013	967	42	4,166	30,537	
	割合	23.6%	24.5%	28.4%	6.6%	3.2%	0.1%	13.6%	100%	

# 検討会における議題について(メモ)



# いわゆる「出口の問題」について



新たな患者を受け入れるための空きベッドを確保するには、救命救急センターに入院している患者が、退院するか、もしくは別の病床、病院に移動する必要がある。

## 第二次救急医療機関について

- 第二次救急医療機関とは、入院を要する救急医療を担う医療機関であって、第三次救急医療機関以外のものであり、都道府県が作成する医療計画に基づいて整備を進めるものである。

（求められる医療機能は別紙のとおり。）
  
- 昭和52年以来、初期、二次、三次といった階層的救急医療体制の整備を進めるとともに、第二次救急医療機関の整備の一環として、病院群輪番制病院や共同利用型病院へも補助を行ってきた。
  - ・病院群輪番制病院 .. 医療圏単位で、圏域内の複数の病院が、当番制により、休日及び夜間における診療体制の確保を図るもの。

（408地区、3143ヶ所）
  
  - ・共同利用型病院 .. 医療圏単位で、拠点となる病院が一部を開放し、地域の医師の出務による協力を得て、休日及び夜間における診療体制の確保を図るもの。

（10ヶ所）
  
- 近年の、三位一体改革等に伴い、病院群輪番制病院等の運営費補助は、平成17年度より一般財源化された。

## 救急医療の体制構築に係る指針\* (抜粋)

## 入院を要する救急医療を担う医療機関(第二次救急医療)の機能【入院救急医療】

## ① 目標

- ・ 24時間365日、救急搬送の受け入れに応じること
- ・ 傷病者の状態に応じた適切な救急医療を提供すること

## ② 医療機関に求められる事項

地域で発生する救急患者への初期診療と応急処置を行い、必要に応じて入院治療を行う。医療機関によっては、脳卒中、急性心筋梗塞等に対する医療等、自施設で対応可能な範囲において高度な専門的診療を担う。また、自施設では対応困難な救急患者については、必要な救命処置を行った後、速やかに、救命救急医療を担う医療機関等へ紹介する。救急救命士等への教育機能も一部担う。

- ・ 救急医療について相当の知識及び経験を有する医師が常時診療に従事していること
- ・ 救急医療を行うために必要な施設及び設備を有すること
- ・ 救急医療を要する傷病者のために優先的に使用される病床または専用病床を有すること
- ・ 救急隊による傷病者の搬送に容易な場所に所在し、かつ、傷病者の搬入に適した構造設備を有すること
- ・ 急性期にある患者に対して、必要に応じて早期のリハビリテーションを実施すること
- ・ 初期救急医療機関と連携していること
- ・ 当該病院では対応できない重症救急患者への対応に備え、近隣のより適切な医療機関と連携していること
- ・ メディカルコントロール協議会等との連携の上、実施可能な医療機能等を消防機関等に周知していること
- ・ 救急医療情報センターを通じて、診療可能な日時や、診療機能を住民・救急搬送機関に周知していること
- ・ 医師、看護師、救急救命士等の医療従事者に対し、必要な研修を行うこと
- ・ 「救急病院等を定める省令」によって定められる救急病院であること

## ③ 医療機関の例

救急病院

二次輪番病院、共同利用型病院

一年を通じて診療科にとらわれず救急医療を担う病院又は診療所

脳卒中や急性心筋梗塞等に対する急性期の専門的医療を担う病院又は診療所

\* 厚生労働省医政局指導課長通知「疾病又は事業ごとの医療体制について」(平成19年7月20日)

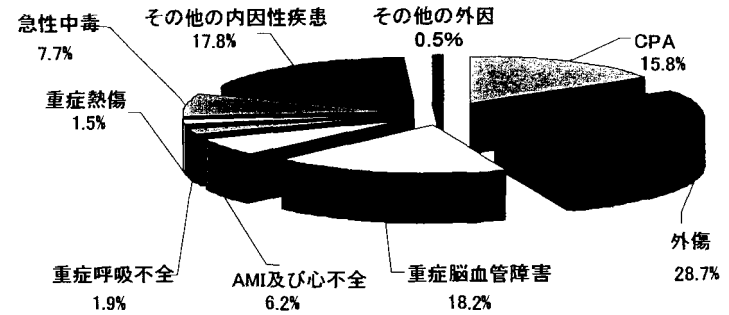
### 救命救急センター不応需件数増加の要因 —とくに患者の出口側(転出)からみた問題点—

国立病院機構大阪医療センター  
救命救急センター

定光 大海

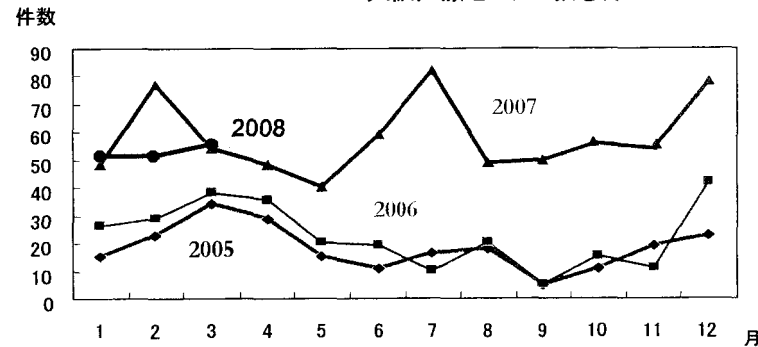
### 入院患者傷病分類

大阪医療センター救命救急センター  
2007年度、総数:1083例



### 不応需件数の推移

大阪医療センター救急部2005~2007



### 不応需の理由

- ・処置中で手が離せない
- ・収容病床がない
- ・三次救急の適応外



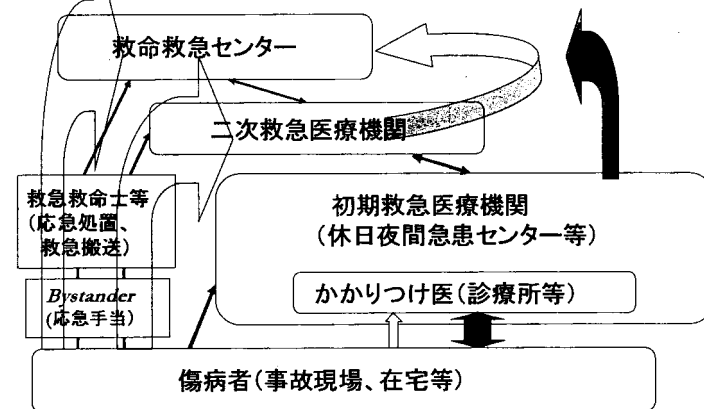
## 不応需の要因

### 要請数と収容能力の不均衡

1. 要請件数の増加
2. 病院の対応能力の低下  
人的、物的資源の不足  
転棟・転院の停滞

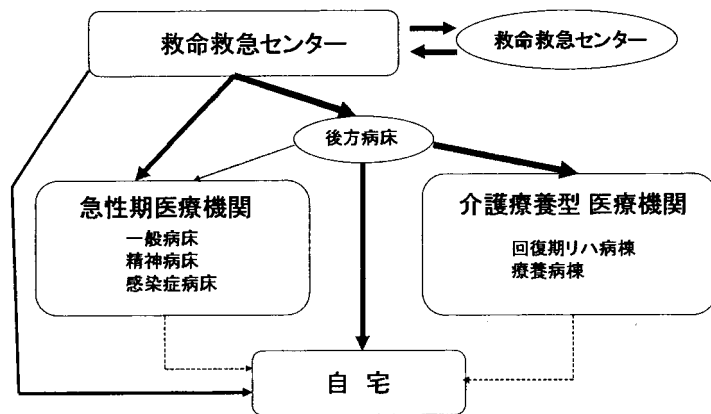
5

## 傷病者搬送の流れ



6

## 傷病者転院の流れ



7

## 依頼件数増加に対して求められる対策

### 病院での対応

- ・業務量増加への対応
- ・医師・看護師数確保
- ・後方病床確保
- ・診療科後方支援

### 病院間連携(転院)

8

### 救命救急センター病床と看護師数

総数:30床 看護師数:45名

ICU 8床 夜勤 4名

HCU 22床 夜勤 2名

HCUを重症患者の初期集中治療に利用できない!

9

### 救命救急センター長期入院患者数

(総患者数1083例、平均在院日数8.8日、2007年度)

期間	症例数
1ヶ月以上3ヶ月未満	15
3ヶ月以上6ヶ月未満	5
6ヶ月以上	2
計	22

10

### 救命救急センター長期入院のキーワード

- ・重症
- ・遷延する意識障害
- ・精神障害
- ・隔離を要する感染症



転棟だけでなく転院も難しい

11

### 救急部担当長期入院患者

生存退院・転院総例475例、2007年度

期間	症例数
1ヶ月以上3ヶ月未満	100
3ヶ月以上6ヶ月未満	22
6ヶ月以上	5
計	127 (26.7%)

12

## 転院困難の要因

1. 入院の原因・患者の病態
  - ・自殺企図による外傷
  - ・脊椎損傷
  - ・人工呼吸器・気管切開
  - ・医療依存度の低い寝たきり状態
2. 社会背景
  - ・受け入れ医療機関側の対応の変化  
(回復期リハビリ転院の制限、リスク回避等)
  - ・独居
  - ・困窮者(身寄りなし、ホームレス、外国人等)
3. 患者・家族の希望との解離
  - ・回復までの医療継続;とくに若年者
  - ・転院先での同じケアや急変時対応

13

## 精神疾患をもつ外傷患者の受け入れ先

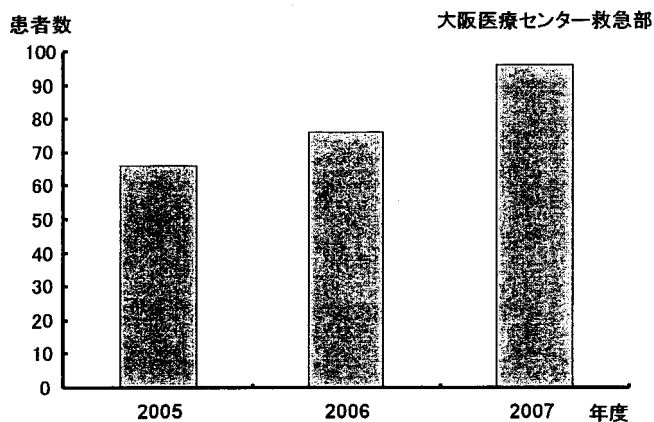
大阪府、2007

総病院数 : 538病院

- ・療養型病棟、精神病棟、  
回復期リハビリテーション病棟のいずれかを持つ  
: 279病院 (52%)
- ・標榜科:
  - 整形外科+リハビリ科+精神科  
: 24病院 (4.5%)
  - 整形外科+精神科  
: 2病院 (0.4%)
  - リハビリ科+精神科  
: 7病院 (1.3%)

14

## 治療費未払い患者数の推移



15

## まとめ

患者の転出を阻む要因は救命救急センターの不応需に影響する。

救命救急センターの長期入院患者の増加は直接入院制限につながる。

後方病床での長期入院患者の増加は間接的にセンター稼働に影響する。

救急患者の長期入院には、

受け入れ機関の対応、困窮者増加などの社会背景、患者・家族の考え方の変容など様々な要因が絡んでいる。

16

救急医療を支える療養病床で  
今、何が起きているのか  
～命のバトンをつなぐために～

医療法人社団康明会  
事務局長 遠藤正樹  
info@komei-mc.or.jp

## 救急医療における療養病床の機能

急性期病院の後方支援として  
急性期治療後の受入先となっている

- 24時間体制での継続的な医学管理が必要
- 継続したリハビリテーションが必要
- 医療の必要性は高くないが、そのまま在宅復帰することが難しい(例:経管栄養、認知症、単身)  
※患者・家族の病気への理解、社会復帰に向けての気持ちや環境を整える時間

## 当院医療療養病床(48床)の 2・3次救急からの入院要請・受入実績

(H18.6以前)	平均入院要請数	28件/月	⇒ 入院9.5件(34%)
医療区分開始 ↓			
(H18.7以後)	平均入院要請数	22件/月	⇒ 入院4.5件(20%)

※「医療区分」開始後、入院数(比率)は、14%減

## 受入要請を断った主な理由

- 1) 満床
- 2) 地域性(地元優先である当院の特性)
- 3) 専門医がない(透析、呼吸器等の重症例)
- 4) 単身高齢者等、身寄りがない(後見人不在)
- 5) 医療コストが高い

※ 5) のコスト高を理由に受入を断ったケースは、  
「医療区分」導入後、顕著

## 「医療区分」とは何か

### 逼迫する医療費削減の目的のために;

「社会的入院の解消」という大義名のもと、

入院患者数の大幅な削減のために行われたことは・・・

①ベッド数の削減(06年6月国会で可決された療養病床再編)

◆25万床(医療)+13万床(介護)を

6年間で15万床(医療)に

◆介護療養は全廃(H24.3末まで)

②医療の必要度が低いとみなした患者の入院抑制

⇒ 医療区分の導入

(06年診療報酬改定で同年7月開始)

◆患者を医療の内容・身体機能(ADL)によって区別し、

診療報酬に差をつける

5

## 医療区分・ADL区分と報酬

(H20.4)

	医療区分1	医療区分2	医療区分3
ADL区分1	885点	1320点	1709点
ADL区分2	750点	1320点	1709点
ADL区分3	750点	1198点	1709点

2・3次救急からの典型的な受け入れ患者像

脳血管疾患／重度の後遺症(マヒ、失語、  
認知症)／経管栄養／体動ほぼ無し  
(体位交換を含む全介助 要介護度5)

財政面で受け入れられない療養病床が多い

医療区分1・ADL区分3 ⇒ 点数 885点/日

国は、区分1は医療必要度が低いため在宅・施設で対応可というが・・・

⇨ では、救急からの受入先はどこへ?

6

## 2・3次救急からの受入患者の行き先

救急からの受入患者の在宅退院率(施設含む): 28%

○手厚い在宅復帰・支援体制でも、これが限界

↳ { 訪問診療、訪問看護、居宅介護支援、  
重度対応可能な訪問介護・通所サービス等 }

○在宅体制の整備できない地方部ではほとんど不可

○帰れない患者の大半は介護療養型医療施設が受け皿

国は、介護療養型医療施設の全廃を決めたが・・・

⇨ では、救急から受けた患者の次の療養の場は?

7

## 受け皿としての療養病床の直面する問題

○救急病院から療養病床で受入れてきた患者は、

これまで、これからも、療養病床でなければ

受け入れられない患者である

○療養病床の機能(量と質)が継続できなければ

救急医療の機能不全もさらに悪化。



問題① 現状の医療区分と報酬では、ますます受入不可に。

問題② 療養病床を持つ病院は、減収と人員配置で経営破たん。  
社会的資本としての受け皿機能が消失

問題③ 病院側の介護療養病床がなくなれば、在院日数が伸び、  
病床でさらに受入不可に。

8

救急医療の機能不全を防ぐために

提案 療養病床での受入れを促進する  
医療区分の見直し

◎2・3次救急病院から受入れた患者は  
入院から6ヶ月間、医療区分2とする

(必要な医学管理・投薬・リハビリの実施、  
および在宅を含む社会復帰支援のため)

これが救急医療から療養病床が受けた  
「命のバトン」をつなぐ  
真のセーフティネットとなる







### 救急隊別受け入れ状況(H20.1月分)

救急隊	○	×	救急隊	○	×	救急隊	○	×
旭	20	20	城東第1	13	17	西	5	4
阿倍野第1	2	4	城東第2	9	3	西浜路	7	24
浜路	0	1	消防本部	0	1	西成	1	2
生野	0	1	水上	1	2	西淀川	3	5
● 茨木	1	0	● 吹田	0	4	● 羽曳野	0	1
上町	7	14	● 吹田岸辺	0	1	● 飯南	1	0
浮田	62	35	● 吹田南	2	2	● 東大阪	0	1
江戸堀	9	13	住之江第1	0	5	東住吉第1	0	4
海老江	2	6	住吉	1	1	東成	4	7
恵比須	5	5	箕	0	1	東野田	20	24
天王寺	9	11	中央	11	18	東淀川	6	17
大塚町	12	21	津守	0	1	平野第1	1	1
海道	0	2	鶴見第1	2	7	平野第2	0	2
加島	1	13	鶴見第2	2	7	福島	1	4
岸辺	1	1	道頓堀	7	14	不明	0	1
北	47	43	● 豊中	1	2	港	1	2
喜連	1	1	● 豊中北	0	1	南森町	37	31
香芝	0	1	中川	1	2	都島	38	32
此花	3	6	中浜	8	9	● 八尾	0	1
小松	5	11	長吉	0	1	淀川第1	13	20
			滝津	2	13	淀川第2	4	6

○ 受け入れ × 受け入れ不能  
● 大阪市内 ● 大阪市外

大阪市域外、かなり遠方よりの依頼増加!

合計	432	519
----	-----	-----

### 救急受け入れ時間帯別状況別(H20.3月)

時間	時間別		時間帯別			
	○	×	○	×	○×計	
9時台	10	9	日勤帯	124	81	205
10時台	15	8				
11時台	28	7				
12時台	22	13				
13時台	16	14				
14時台	17	15	準夜帯	184	221	405
15時台	16	15				
16時台	23	19				
17時台	16	16				
18時台	27	30				
19時台	20	35	深夜帯	136	320	456
20時台	31	40				
21時台	30	36				
22時台	37	45				
23時台	27	45				
0時台	24	43				
1時台	17	42				
2時台	15	37				
3時台	7	26				
4時台	8	36				
5時台	9	32				
6時台	7	31				
7時台	9	18				
8時台	13	10				
合計	444	622				1066

深夜帯がやはり受け入れ不能率が高くなる?

### 加納総合病院における夜間救急医療に係る領域に関する人件費(2007.6~2008.3の月平均)

部門別	
人件費の合計	13,247,548
内訳 職種ごと	
医師 総合計	8,328,230
看護師 総合計	1,837,579.8
技師 総合計	1,913,500.1
事務員総合計	1,168,237.8

人件費だけで月間約一千三百万円

人件費だけで年間約一億六千万円

### 外来未収 預り金

### 救急搬送患者の約一割が未収

	件数	金額	預り金
平成19年4月分	15	¥ 205,458	¥ 80,000
平成19年5月分	30	¥ 543,861	¥ 128,000
平成19年6月分	16	¥ 249,984	¥ 79,000
平成19年7月分	17	¥ 228,938	¥ 84,000
平成19年8月分	29	¥ 427,931	¥ 86,000
平成19年9月分	36	¥ 519,587	¥ 106,000
平成19年10月分	28	¥ 356,707	¥ 164,000
平成19年11月分	27	¥ 471,152	¥ 87,000
平成19年12月分	34	¥ 574,738	¥ 156,000
平成20年1月分	36	¥ 484,293	¥ 177,000
平成20年2月分	30	¥ 467,854	¥ 133,000
平成20年3月分	44	¥ 598,023	¥ 214,000
総合計	342	¥5,128,526	¥1,494,000

### 二次救急体制に於ける問題 その一

- 未曾有の看護師さん不足⇒一部病棟閉鎖、7対1入院基本料や集中治療室加算等取れない⇒忙しいのに収入が上がらない
- 二次救急医療には十分な診療報酬が付かない
- 地方自治体も財政破綻⇒救急行政に補助金等が十分には付かない
- 深刻な医師不足(特に救急医、外科系等の急性期医師のなり手の減少)
- DPC(急性期病院必須?)の救急患者への対応が不十分⇒特に高齢者救急(急増中)搬送

13

### 二次救急体制に於ける問題 その二

- 未収金の増加(外国人、急性アルコール中毒患者に多い?昨今の不払い患者の増加?)=救急搬送患者の約一割も
- いわゆるモンスターペーシェントとも言われる(暴力や暴言を吐いたり、不当な検査、診察等を要求する等)患者の増加
- 医療事故(と称する?)訴訟の増加
- マスコミの病院バッシング(医療現場を理解なしでの報道、発言)

14


### 都市救急砂漠化緊急対策

- 救急搬送加算の新設(せめて東京都実施済補助金等:一施設千五百万円+一例八千円(の迷惑料?)並みへ)⇒救急医療を懸命に担っている病院へ直接効果あり
- 財政破綻の地方自治体も補助金等の代わりに例えば救急病院の固定資産税の減免を!(特に都会等の土地などが高い地域では)
- 高齢者救急搬送患者への診療報酬上の評価(特養や高齢者専用賃貸住宅入居者の急変時対応加算?)⇒入院がどうしても長期化しやすいので
- 未収金問題への保険者の対応や行政の補助
- 医師・看護師不足対策⇔待遇改善!
- マスコミ対策⇔「診療拒否」⇒診療受け入れ不能、「たらい回し」⇒頻回な受診依頼

15

救急医療の今後のあり方に関する検討会  
厚生労働省 2008. 4. 30.


## ER型救急について



福井大学 医学部 付属病院  
救急部・総合診療部  
寺沢秀一

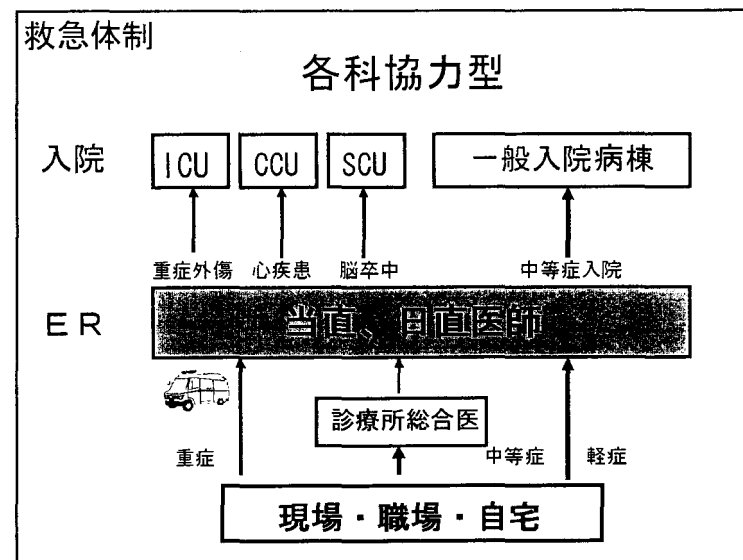

## ER型救急医を始めたのは---

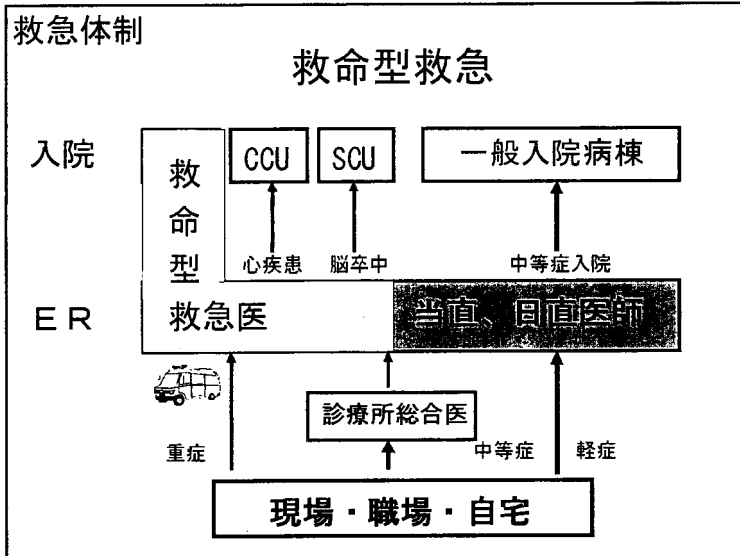
- 昭和51~55年：沖縄県立中部病院にて初期研修  
ER受診患者：100人受診/日  
ER診療は研修医主体でER専門の指導者無し
- 昭和54年：トロント大学救急部教授の教育訪問  
「このERにはER型救急医が3,4人は必要」
- 昭和55年：北米でのER研修



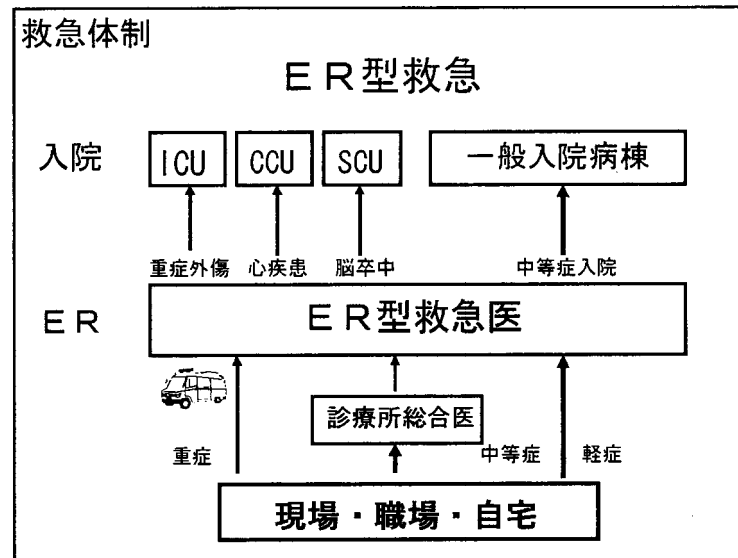
## ER型救急とは

- 軽症から重症まで、ER（救急室）に受診する全ての科の救急患者を受け入れる。
- ERに受診した全ての患者にER型救急医が救急初期診療を行なう。
- ER型救急医は入院治療や手術が必要な患者を該当科に振り分ける。ER型救急医は入院治療や手術を行わない。
- 自家用車等で受診した患者はトリアージ看護師が緊急性の判断を行う。






5



6

### ER型救急


- ERだけで働く医師をER型救急医と呼ぶ。
- ER型救急医が交代勤務でERにおける初期診療を行なっているのをER型救急体制と呼ぶ。
- ER型救急医はER受診患者を最初に全て自分で診療する。
- ER型救急医は必要に応じて各科専門医をERに呼び、パトタッチして入院治療や手術を行っていただく。



7

### ER型救急の利点

- 救急車の受け入れ拒否が発生しない。
- ERにおける初期診療の質が標準化できる。
- ERにおける医事紛争が防止できる。
- 各科専門医がそれぞれの専門診療に専念できる。
- ERにおける初期研修医の教育が充実する。



8

## 日本におけるER型救急の現状

救急科専門医指定施設408施設へのアンケート調査 2007. 11-12.  
アンケート回収率：283/408施設 (69. 3%)

- ・ ER型救急体制の施設：180施設
  - 24時間ER型救急体制：99施設
  - 一部の時間帯だけER型救急体制：81施設
- ・ ER型救急医（後期研修医を含む）：500人
  - 1-3人のER型救急医が勤務している施設が最多
- ・ ER型救急医の養成コース
  - 養成コース有り：82施設
  - 養成コース準備中：49施設
  - ER型救急医を目指して研修中の医師：150名

日本救急医学会、ER検討特別委員会



9

## ER型救急体制の問題

- 救命救急科、総合内科がないと主治医が決まるのに時間がかかり、診療の質の維持が困難になる。
- 入院治療、手術を行う各科専門医が疲弊する。
- 入院ベッド回転に特別な力が必要となる。
- 各科専門医とER型救急医との関係が悪化する。
- 軽症救急受診が増え、待ち時間が長くなる。



10

## ER型救急の課題

- ER型救急体制の有効性の証明
- ER型救急医の養成と質の保証
- ER型救急体制の啓蒙



11

ER型救急医による診療の質

24時間以内に救急外来を再診した小児例の検討  
名古屋エキ済会病院救命救急センター、岩田充英ら

- ・ ER型救急医+研修医による初期診療
- ・ 年末年始休暇期間 2006. 12. 29-2007. 1. 3.
- ・ 内因性疾患の小児；334例
- ・ 24時間以内の再診；40例（12%）
- ・ 再診時入院；4例（1. 2%）
- ・ 初診時の判断が妥当でない再診入院；1例（0. 3%）



ER型救急医による小児初期対応は可能

（第21回日本小児救急医学会、2007年、鹿児島）

12

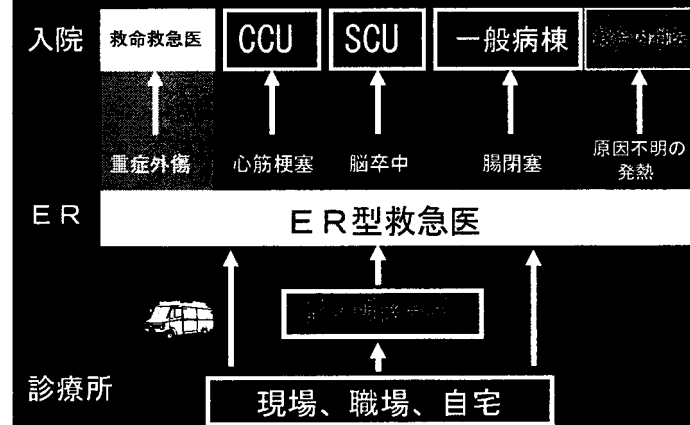
## ER型救急が定着する条件

- 救急に熱心な病院で、自然発生的にER型救急医が出現していること。
- その病院で育った医師がER型救急医になっていること。
- ER型救急医が少しずつ増えていくこと。
- 病院管理職、各科専門医がER型救急医を理解し、支援体制が整っていること。
- 臨床研修病院であり、初期研修医がいること。



13

## 理想的な救急体制



14

第4回 救急医療の今後のあり方に関する検討会

## 〜東京ER・墨東の実際〜



東京都立墨東病院救命救急センター

濱邊 祐一

1

## ER型救急とは

対象：来院するすべての救急患者

軽症から重症まで

自力来院から救急車による搬送まで

役割：初期診療（診断、初期治療）

アドバンスト・トリアージ

入院加療、手術には関与せず

2

## 東京ER・墨東 開設前

三次救急 → 救命救急センター

初期・二次救急 → 各科病棟当直医  
(内科・外科・小児科・  
産科・整形外科など)

3

## 東京ER・墨東 開設当初

三次救急 → 救命救急センター専従医師

初期・二次救急

(初療) → ER診療医

(専門治療・入院治療)

→ 各科病棟当直医

4

## ER開設当初の問題点

- (1) ER診療医と病棟当直医との連携が不十分
- (2) 複数が関わる患者に対する責任の所在が不明確
- (3) そもそも、病棟当直医の業務に救急対応は含まれていないという認識

5

## 東京ER・墨東（現在）

三次救急 → 救命救急センター専従医師

初期・二次救急

ERコーディネーター

↓ 全体の指揮・統括

(初療) → ER診療医

(専門治療・入院治療)

→ 各科病棟当直医

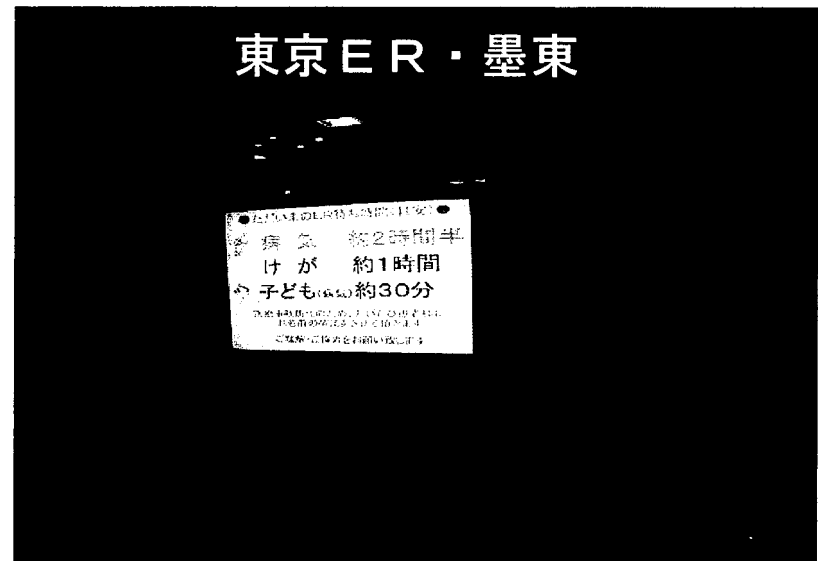
6

## 東京ER・墨東



7

## 東京ER・墨東

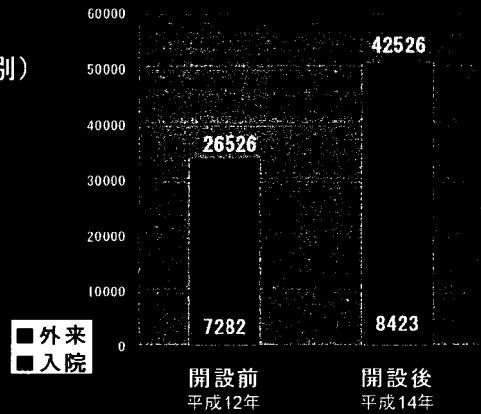


8



## E R開設前後の年間救急患者数

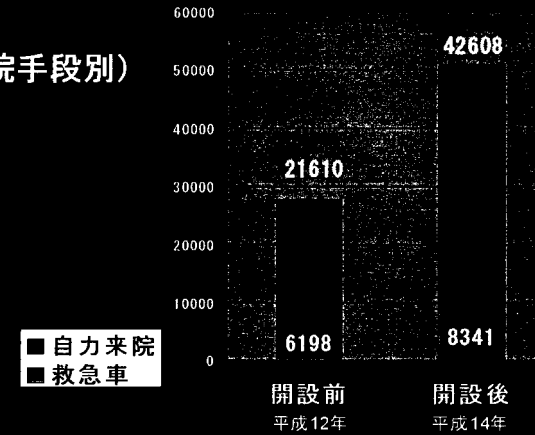
(外来・入院別)



9

## E R開設前後の年間救急患者数

(来院手段別)



10

## 墨東病院 救命救急センター

専従スタッフ：16名

(救急科5名、外科2名、整形外科4名、内科4名、脳外科1名)

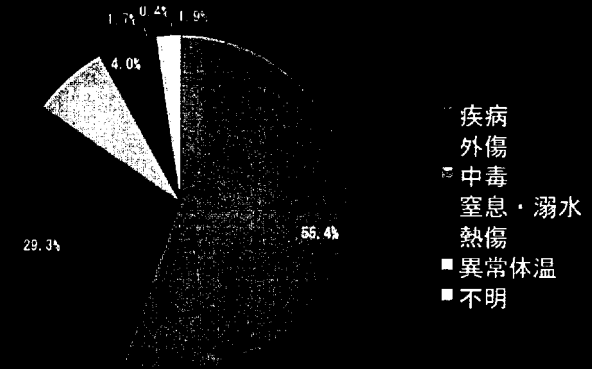
研修医、レジデント：8～16名

ベッド数：センター病床 24床  
後方病床 45床

入院患者：1908名（平成18年）  
(CPA：604名を含む)

11

## 平成18年度疾患別収容割合



12

## 墨東病院 当直体制

ERコーディネータ	岡田	
ER疾病系	中村	川崎
ER外傷系	稲田	松本
ER小児系	玉本	
内科①	木下	
内科②	大和田	
内科③	伊元	
小児科	宇田川	
外科	真栄城	
脳外科	高須	
整形外科	中山	
混合科	片山	
神経科	青島	
産婦人科	根岸	井上
新生児科	高野	
麻酔科	田川	竹内
救命救急センター	黒木	嶋田
	藤原	杉山
	佐藤	高野

13



区東部医療圏と  
東京ER・墨東

14

## 救急医療体制の比較

ER型救急 → 病院内体制  
(hospital base)

初期, 二次, 三次 → 病院間体制  
(area base)

15

## まとめ

1. 都立墨東病院の初期・二次救急はER型のシステムを採用している。
2. ER型システムを有効に運用するためには、既存の救命救急センターの存在が不可欠である。

16